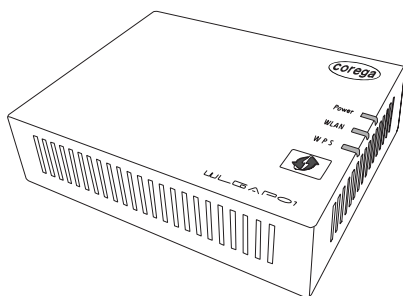




CG-WLGAP01

お使用の 手引き



PART1 お使いの前に

製品概要
付属品の確認
各部の名称と機能

PART2 本商品を接続する

本商品の接続例
LANケーブル、ACアダプタの接続

PART3 ゲーム機を接続する

接続のしかた
●ニンテンドーDSで接続する
●Wiiで接続する

PART4 パソコンを接続する

接続のしかた
●WPSで接続する
など

PART5 設定を変更する

設定画面を表示する
設定画面の全体構成
など

トラブル解決と Q&A

本商品のトラブル
よくあるご質問
など

安全にお使いいただくためにお読みください


ここには、使用者および他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、ご購入いただいた製品を安全に正しくお使いいただくための注意事項が記載されています。使用されている警告表示および絵記号の意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ本文をお読みください。

警告表示の説明


⚠ 警告 この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意 この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。


絵記号の説明


 この記号は警告・注意を喚起するための記号です。記号の中または近くに具体的な警告・注意事項が示されています。

例)  「発火注意」

 この記号は禁止行為を示すための記号です。記号の中または近くに具体的な禁止事項が示されています。

例)  「分解禁止」

 この記号は必ず行っていただきたい指示内容を示すための記号です。記号の中または近くに具体的な指示内容が示されています。

例)  「電源プラグをコンセントから抜く」

⚠ 警告



家庭用電源(AC100V)以外では絶対に使用しないでください。

異なる電圧で使用すると発煙、火災、感電、故障の原因となります。



必ず付属の専用ACアダプタ(または電源ケーブル)を使用してください。

本商品付属以外のACアダプタ(または電源ケーブル)の使用は火災、感電、故障の原因となります。



電源ケーブルを傷つけたり、加工したりしないでください。

電源ケーブルに重いものをのせたり、加熱や無理な曲げ、ねじり、引っ張ったりすると電源ケーブルを破損し火災、感電の原因となります。また、電源ケーブル(またはACアダプタ)をコンセントから抜くときにケーブル部を持って抜かないでください。



本商品(ACアダプタ含む)は風通しの悪い場所に設置しないでください。

過熱し、火災や破損の原因となることがあります。



本商品(ACアダプタ含む)を分解や改造はしないでください。

感電、火災、けが、故障の原因となります。



本商品の通風孔などから液体や異物が内部に入ったら、ACコンセントからプラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、火災、感電の原因となります。



煙が出たり、へんな臭いがしたら使用を中止し、ACコンセントからプラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、火災、感電の原因となります。



濡れた手で本商品を扱わないでください。

電源が接続された状態で、本商品の操作や接続作業を行うと感電の原因となります。



本商品は一般事務、家庭での使用を目的とした商品です。

本商品は、住宅設備・医療機器・原子力設備や機器・航空宇宙機器・輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器および極めて高い信頼性を要求される設備や機器としての使用、またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これらの設備や機器、制御システムなどに本商品は使用しないでください。本商品の故障により社会的な損害や二次的な被害が発生するおそれがあります。

⚠ 注意



本商品を多段積みで使用したり、通風孔をふさいだりしないでください。

内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。



本商品の前後左右、および上部には十分なスペースを確保してください。

換気が悪くなると内部温度が上昇し火災や故障の原因となります。また、製品に使用しているアルミ電解コンデンサは、高い温度状態で使用し続けると早期に寿命が尽きる場合があります。寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液の漏れや枯渇が生じ、異臭の発生や発煙、火災の原因となることがあります。



本商品を次のような場所で使用や保管はしないでください。



禁止



禁止



禁止

- ・直射日光のあたる場所
- ・暖房器具の近くなどの高温になる場所
- ・急激な温度変化のある場所(結露するような場所)
- ・湿気の多い場所や水などの液体がかかる場所
- ・振動の激しい場所
- ・ほこりの多い場所や、じゅうたん等の保温性、保湿性の高い場所
- ・腐食性ガスの発生する場所
- ・台所、浴室、洗面所などの水気や湿気が多い場所
- ・ユニットバスや天井裏など高温・多湿で風通しの悪い場所
- ・壁の中などお手入れが不可能な場所
- ・強い磁気や電磁波が発生する装置が近くにある場所



強制指示

事故防止のため、お手入れ可能な場所に設置してください。

本商品(ACアダプタ含む)にほこりなどが付着していると発煙や火災の原因となる場合があります。ほこりなどが付着している場合は、電源を切った状態にしてから乾いた布でよく拭き取ってください。



禁止

雷のときは本商品や接続されているケーブル類に触らないでください。

落雷による感電の原因となります。



禁止

本商品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。

故障の原因となることがあります。

無線製品をご利用の際のご注意

■電波に関するご注意

本製品を下記のような状況でご使用になることはおやめください。また、設置の前に必ず P.2「安全にお使いいただくためにお読みください」お読みください。

- ・心臓ペースメーカーの近くで本製品をご使用にならないでください。心臓ペースメーカーに電磁妨害を及ぼし、生命の危険があります。
- ・医療機器の近くで本製品をご使用にならないでください。医療機器に電磁妨害を及ぼし、生命の危険があります。
- ・電子レンジの近くで本製品をご使用にならないでください。電子レンジによって、本製品の無線通信への電磁妨害が発生します。

この機器の製品仕様に記載されている使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

次の記載は、この無線機器が 2.4GHz 帯を使用し、変調方式として DS-SS と OFDM 変調方式を採用、想定される干渉距離は 40mであることを表します。また、周波数変更の可否として、全帯域を使用し、かつ「構内局」あるいは「特小局」、「アマチュア局」帯域の回避が可能です。

2.4DS/OF4

2.4 : 2.4GHz 帯を使用する無線設備を表します。

DS/OF : DS-SS 方式および OFDM 方式を表します。

4 : 想定される干渉距離が 40m 以下を表します。

■■■ : 全帯域を使用し、かつ「構内局」あるいは「特小局」、「アマチュア局」帯域の回避が可能なことを表します。

- 1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局、アマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、電波の発射を停止した上、本書に記載されている連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置（例：パーティションの設置など）についてご相談ください。
- 3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、弊社サポートセンタへお問い合わせください。

■セキュリティに関するご注意

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲内であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲であれば障害物（壁等）を超えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、次のような問題が発生する可能性があります。

●通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が電波を故意に傍受し、

- ・ ID やパスワードまたはクレジットカード番号等の個人情報
- ・ メールの内容

などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

●不正に侵入される

悪意ある第三者が無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、



- ・ 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
- ・ 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
- ・ 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
- ・ コンピュータウイルスなどを流し、データやシステムを破壊する（破壊）

などの行為をされてしまう可能性があります。本来、無線LANカードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分に理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお薦めします。


本書の読み方

本書で使用している記号や表記には、次のような意味があります。

●記号について

	操作中に気をつけていただきたい内容です。 必ずお読みください。
	補足事項や参考となる情報を説明しています。

●表記について

本商品	CG-WLGAP01のことです。
「 」-「 」-「 」	「 」で囲まれた項目を順番に選択することを示します。
[]	[]で囲んである文字は画面上のボタンを示します。 例：  → [OK]
Windows Vista	Microsoft® Windows Vista™ Home Basic、 Microsoft® Windows Vista™ Home Premium、 Microsoft® Windows Vista™ Businessおよび Microsoft® Windows Vista™ Ultimate
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Home Edition operating systemおよびMicrosoft® Windows® XP Professional operating system
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system

※本書では、複数のOSを「Windows Vista/XP」のように併記する場合があります。

●イラスト、画面について

本書に記載のイラストや画面は、実際と多少異なることがあります。

目次

安全にお使いいただくためにお読みください	2
無線製品をご利用の際のご注意	4
本書の読み方	6

PART1 お使いの前に 9

製品概要	9
付属品の確認	10
各部の名称と機能	10

PART2 本商品を接続する 13

本商品の接続例	13
●接続できない例	14
LAN ケーブル、AC アダプタの接続	15

PART3 ゲーム機を接続する 17

接続のしかた	17
●ニンテンドーDSで接続する	17
●Wiiで接続する	21

PART4 パソコンを接続する 27

接続のしかた	27
●WPSで接続する	28
●Windows Vistaで接続する	31
●Windows XPで接続する	34
●AirMac (Macintoshの内蔵無線LAN) で接続する	40
●手動で接続する	43

PART5 設定を変更する 45

設定画面を表示する	45
設定画面の全体構成	47
●本体設定	49
●IPアドレス	49

●無線設定	50
●Wi-Fi Protected Setup	51
●802.11g/b 設定	52
●802.11g/b セキュリティ設定	54
●アクセス制限	57
●マルチAP設定	58
●管理	60
●PINGテスト	61
●ステータス	61

トラブル解決と Q&A 63

本商品のトラブル	63
本商品の設定ができない	63
よくあるご質問	70
●最新のファームウェアを入手して更新したい	70
●設定を保存したい／元に戻したい	74
●再起動したい	77
●工場出荷時の状態に戻したい	79
●パソコンのIPアドレスを調べたい	81
●パソコンのIPアドレスを設定したい	82

トラブル・疑問が解決しないときは 89

メールでのお問い合わせ	89
FAX でのお問い合わせ	90
電話でのお問い合わせ	91

付 録 92

マルチ AP 機能について	92
仕様一覧	94
工場出荷設定	94

おことわり	95
-------------	----

PART 1 お使いの前に

1

製品概要

本商品はIEEE802.11b/gの無線LAN規格に対応した無線アクセスポイントです。本商品をルータなどに接続することで、無線LANに対応したゲーム機やパソコンが、インターネットに接続できるようになります。

- ・ **マルチ AP 機能に対応**

SSID を 2 つ持つマルチ AP 機能に対応しています。

ファーストSSIDは「WPA2/WPA-PSK」の高度なセキュリティに対応していますので、Wii、PLAYSTATION3、PSP（プレイステーション・ポータブル）、パソコンなどに接続できます。セカンドSSIDは「WEP」のセキュリティに対応していますので、ニンテンドー DS との接続に最適です。

- ・ **WPS ボタンを搭載**

WPS (Wi-Fi Protected Setup) のプッシュボタンによる接続に対応します。無線 LAN アダプタ（子機）が WPS に対応している場合、それぞれの WPS ボタンを押すだけで、無線 LAN 接続と WPA2/WPA-PSK のセキュリティ設定が完了します。

- ・ **新設計の小型筐体**

新設計の小型筐体、内蔵型アンテナで、持ち運びにも便利です。

- ・ **本商品の設定不要でゲーム機を無線 LAN に接続可能**

本商品は、はじめからセキュリティ設定がされています。本商品の設定をすることなく、各ゲーム機に合わせたセキュリティでネットワークに安全に接続することができます。



本商品の設定を変更してお使いの場合は、パソコンが必要です。

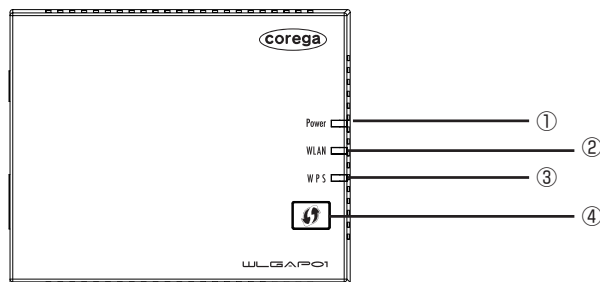
付属品の確認

本商品をご使用になる前に、次のものが同梱されていることをご確認ください。
万が一、欠品・不良などがございましたら、お買い上げいただいた販売店までご連絡ください。

- | | | |
|----------------------------------------|------------------------------------|-------------------------------|
| <input type="checkbox"/> CG-WLGAP01 本体 | <input type="checkbox"/> AC アダプタ | <input type="checkbox"/> スタンド |
| <input type="checkbox"/> LAN ケーブル | <input type="checkbox"/> 取扱説明書（本書） | |
| <input type="checkbox"/> 電波干渉注意ラベル | <input type="checkbox"/> 製品保証書 | |

各部の名称と機能

■前面



① Power LED（緑）

本商品の電源の状態を表示します。

点灯：電源が入っています。

消灯：電源が入っていません。

② WLAN LED（緑）

無線 LAN の状態を表示します。

点灯：無線通信ができる状態です。

点滅：無線通信しています。

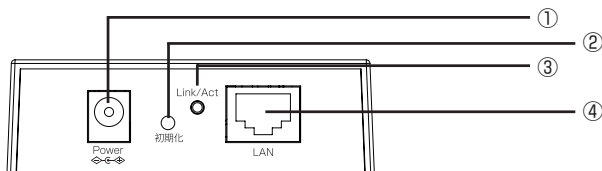
消灯：無線通信ができない状態です。

③ WPS LED（緑）

WPS の設定状態を表示します（P.28）。

④ WPS ボタン

WPS で無線 LAN セキュリティを設定するためのボタンです（P.28）。



① DC ジャック

付属の AC アダプタをつなげるためのコネクタです (P.15)。



- ・ 必ず本商品に同梱の専用 AC アダプタをお使いください。同梱の AC アダプタ以外は、本商品に接続しないでください。
- ・ 本商品に同梱の専用 AC アダプタは、本商品以外に接続しないでください。

②初期化ボタン

本商品を工場出荷時の状態に戻すためのボタンです (P.79)。

③ Link/Act LED

有線 LAN の状態を表示します。

点灯：ルータ（またはルータ機能付きモデム）と通信できる状態です。

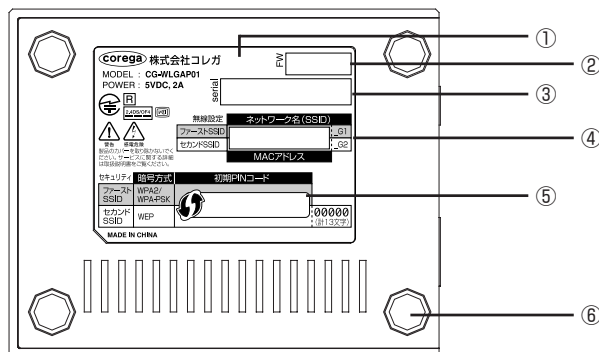
点滅：通信しています。

消灯：LAN ケーブルが接続されていないか、ルータ（またはルータ機能付きモデム）と通信できない状態です。

④ LAN ポート

ルータ（またはルータ機能付きモデム）を接続するためのポートです (P.15)。

■背面



①製品ラベル

商品名や本商品の各情報が記載されています。

②ファームウェアバージョンラベル

工場出荷時のファームウェアのバージョンが記載されています。

③シリアル番号ラベル

本商品のシリアル番号とリビジョンが記載されています。

シリアル番号とリビジョンは、コレガサポートセンタへお問い合わせの際に必要となります。

④MAC アドレスラベル

本商品のMACアドレスが記載されています。MACアドレスは製品ごとに数値が異なります。

本商品のネットワーク名 (SSID) は、ラベルに記載されているMACアドレスが「001122334455」を例とした場合、次のとおりになります。

・ファースト SSID 001122334455_G1

・セカンド SSID 001122334455_G2

⑤初期 PIN コードラベル

初期 PIN コード (ネットワークキー) が記載されています。初期 PIN コードは製品ごとに数値が異なります。

本商品の初期 PIN コード (ネットワークキー) は、ラベルに記載されている初期 PIN コードが「01234567」を例とした場合、次のとおりになります。

・ファースト SSID 用の初期 PIN コード 01234567

・セカンド SSID 用の初期 PIN コード 0123456700000

⑥ゴム足

本商品を横置きするときに使用します。

PART2 本商品を接続する

本商品の接続例

本商品の接続例を紹介します。

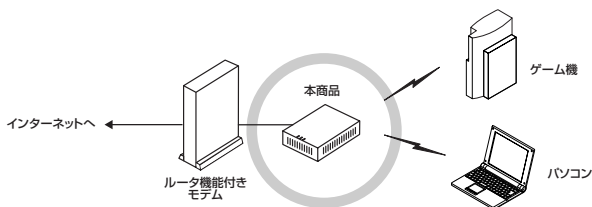
本商品は、ルータまたはルータ機能付きモデム*と、LANケーブルで直接接続して使用します。

※ADSL回線ではモデム、ケーブルテレビ（CATV）インターネット回線ではケーブルモデム、光ファイバ回線では回線終端装置（ONU）または加入者網終端装置（CTU）などと呼ばれています。

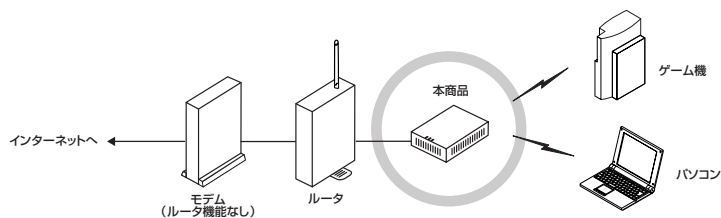


- ・お使いのモデムにルータ機能が付いているかどうかは、モデムの取扱説明書をご覧ください。プロバイダにお問い合わせください。
- ・モデムにルータ機能が付いてない場合は、別途ルータをご用意いただき、ルータを介してインターネットに接続できることを確認した上で、本商品を接続してください。

■ルータ機能が付いているモデムをお使いの場合

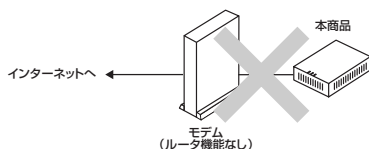


■ルータ機能が付いていないモデムをお使いの場合

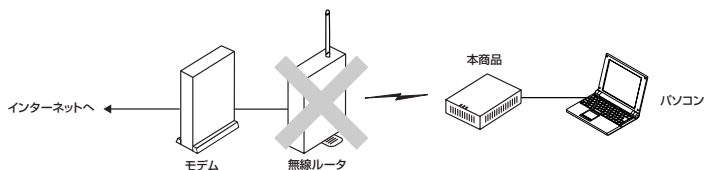


●接続できない例

- ・ルータ（またはルータ機能が付いているモデム）がない
本商品とインターネット回線との間にルータがないと、本商品は使用できません。



- ・無線ルータをお使いの場合、本商品と無線ルータを無線 LAN で接続する
本商品は無線アクセスポイント（親機）です。無線 LAN 子機ではありません。そのため、無線ルータと本商品との接続は、LAN ケーブルで直接接続してください。無線 LAN で接続することはできません。

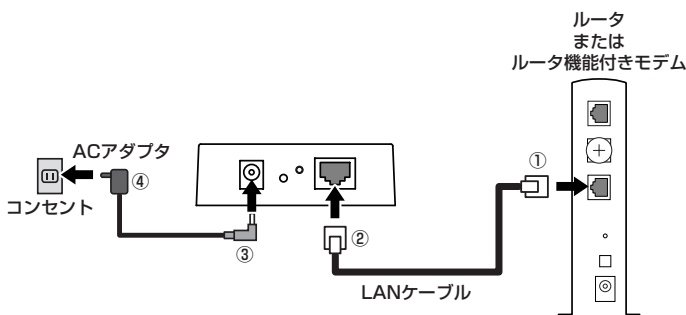


LAN ケーブル、AC アダプタの接続

接続例を確認したら、本商品とルータ（またはルータ機能付きモデム）をLANケーブルで接続します。そのあとで、ACアダプタを接続して電源を入れます。



- ・必ず本商品に同梱しているACアダプタをお使いください。同梱のACアダプタ以外は、本商品に接続しないでください。
- ・本商品に同梱しているACアダプタは、本商品以外に接続しないでください。
- ・本商品のACアダプタは、必ずAC100Vの電源コンセントに接続してください。規格外の電源コンセントに接続すると、発熱による発火や、感電のおそれがあります。
- ・ACアダプタを電源コンセントに接続したまま、DCプラグを抜かないでください。感電するおそれがあります。
- ・電源を切ったあとに再び電源を入れる場合は、電源を切ってから30秒以上経過してから接続してください。連続で電源を切ったり入れたりすると、故障の原因となります。



ACアダプタを接続すると、本商品は次の動作をします。

- 1 Power LED が点灯します。
起動を開始します。

2 WLAN LED が点灯します。

起動が完了し、無線通信できる状態になりました。



Power LED が点灯しない、WLAN LED が点灯しないときは、本商品が正常に起動していません。AC アダプタをコンセントからいったん抜き、30 秒以上経過してから差し込んでください。

PART3 ゲーム機を接続する

接続のしかた

本商品はどんなゲーム機でも簡単に接続できるように、あらかじめ設定されています。そのため、次のように接続することをお勧めします（複数の暗号化に対応しているゲーム機は、最も高度な暗号化のみ記載しています）。

ゲーム機	暗号化	本商品の接続先SSID	参照先
ニンテンドーDS	WEP	セカンドSSID	P.17
Wii	WPA2-PSK	ファーストSSID	P.21
PLAYSTATION3	WPA2-PSK	ファーストSSID	コレガホームページ (http://corega.jp/)
PSP	WPA-PSK	ファーストSSID	コレガホームページ (http://corega.jp/)
Xbox 360	WPA-PSK	ファーストSSID	コレガホームページ (http://corega.jp/)

●ニンテンドー DS で接続する

ニンテンドー DS で、次の設定例で接続する手順を説明します。

本商品の接続先SSID	暗号化	暗号キー（WEPキー）
セカンドSSID	WEP	初期設定値

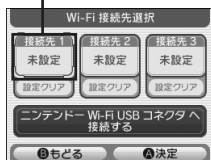
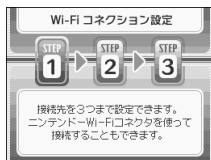
- 1 「Wi-Fi」（「Wi-Fi 設定」、「Wi-Fi せってい」などゲームソフトによって異なります）をタッチして「Wi-Fi コネクション設定」画面を表示します。「Wi-Fi コネクション設定」画面に進む方法は、お使いのゲームソフトの取扱説明書をご覧ください。

- 2 [Wi-Fi 接続先設定] をタッチします。



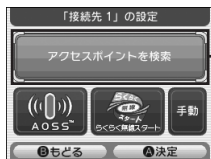
[Wi-Fi 接続先設定] を
タッチします

- 3 「未設定」の接続先をタッチします。



[未設定] をタッチします

- 4 [アクセスポイントを検索] をタッチします。

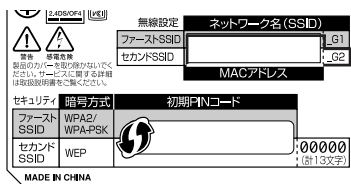


[アクセスポイントを検
索] をタッチします

- 5 本商品のラベルに記載されているセカンド SSID（MAC アドレス
_G2）をタッチします。



タッチします



- 6 WEP キーの入力画面が表示されます。「初期 PIN コード（ネットワー
クキー）」を入力して、「決定」をタッチしま。

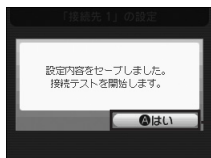


この数値を入力します

※例えば「初期PINコード」に「01234567」と記載されていたとき、WEP
キーとして入力する数値は「012345670000」の計13文字になります。

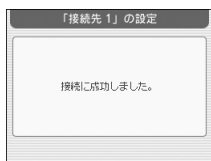
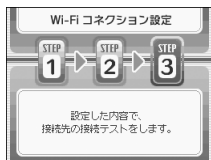
- 7 「この内容で保存します。よろしいですか？」と表示されます。[はい]
をタッチします。

- 8 「[はい]」をタッチし、接続テストを始めます。



「[はい]」をタッチします

- 9 「接続に成功しました。」と表示されたら設定完了です。



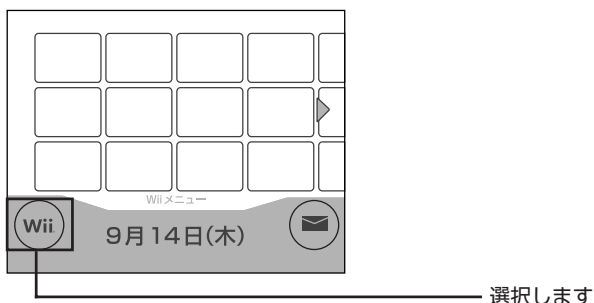
このあとは、お使いのゲームソフトの取扱説明書をご覧ください、ニンテンドー Wi-Fi コネクションをお楽しみください。

● Wii で接続する

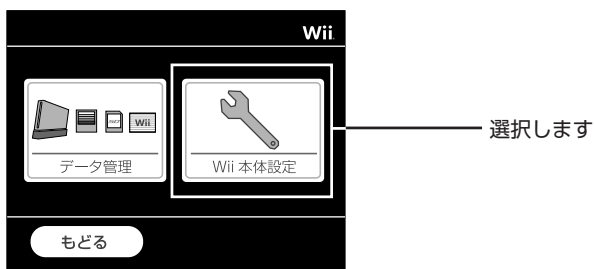
Wii で、次の設定例で接続する手順を説明します。

本商品の接続先SSID	暗号化	暗号キー（セキュリティキー）
ファーストSSID	WPA-PSK	初期設定値

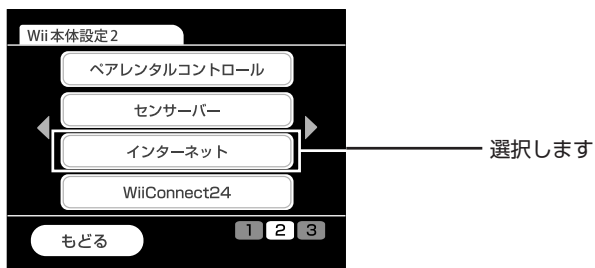
- 1 Wii の電源を入れて、**A** ボタンを押します。
- 2 [Wii]（「Wii オプション」）を選択し、**A** ボタンを押します。



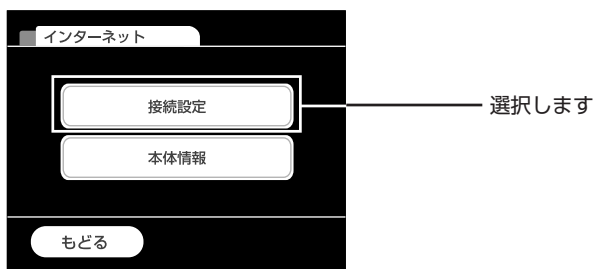
- 3 [Wii 本体設定] を選択し、**A** ボタンを押します。



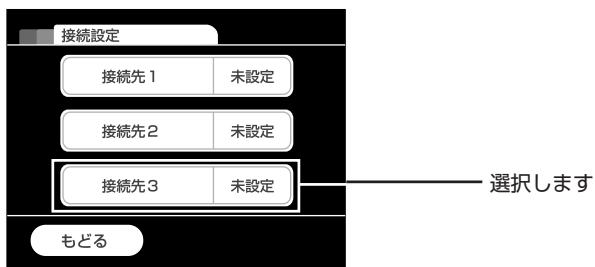
- 4 「インターネット」を選択し、**A**ボタンを押します。



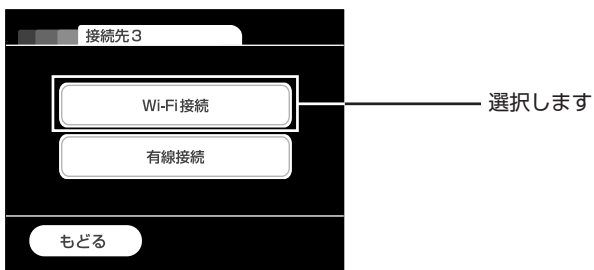
- 5 「接続設定」を選択し、**A**ボタンを押します。



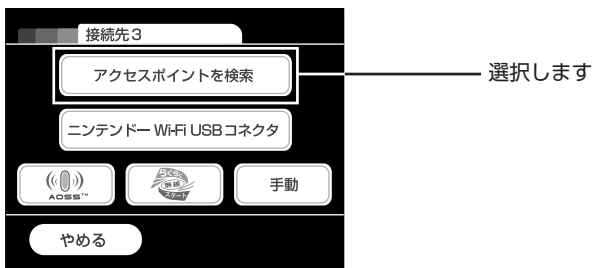
- 6 「未設定」の「接続先」を選択し、**A**を押します。



- 7 [Wi-Fi 接続] を選択し、**A** ボタンを押します。



- 8 [アクセスポイントを検索] を選択し、**A** ボタンを押します。



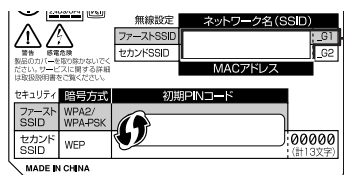
- 9 本商品のラベルに記載されているファーストSSIDを選択し、**A**ボタンを押します。



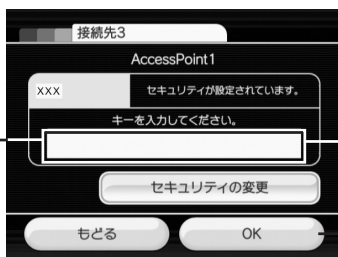
WiiをセカンドSSIDに接続すると、ファーストSSIDに接続したときに比べてセキュリティが弱くなります。そのため、ファーストSSIDに接続することをお勧めします。



選択します



- 10 「初期PINコード（ネットワークキー）」を入力して、[OK] を選択し、**A**ボタンを押します。

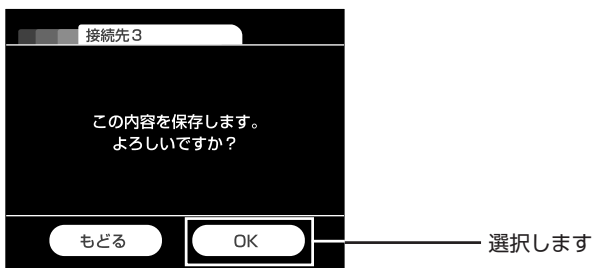



①入力します

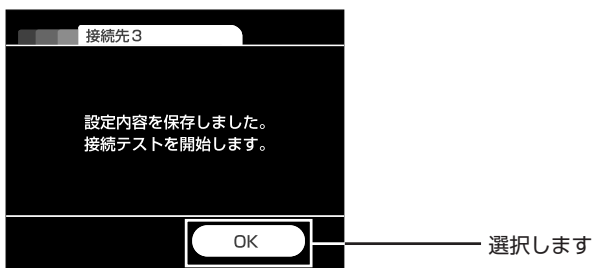
②選択します



11 [OK]を選択し、 ボタンを押します。



12 [OK] を選択し、 ボタンを押します。



13 接続テストが成功したら、設定完了です。

お天気チャンネル、ニュースチャンネル、インターネットチャンネルなどをお楽しみください。

MEMO

PART4 パソコンを接続する

接続のしかた

本商品は、WPS (Wi-Fi Protected Setup) で接続する方法と、手動で接続する方法があります。

■ WPS (Wi-Fi Protected Setup)

パソコンに接続している無線 LAN アダプタ (子機) が WPS に対応している場合に使用できます。本商品の WPS ボタンと、無線 LAN アダプタのソフトウェアを操作して接続します。

- ・「WPS で接続する」(P.28)

■ 手動接続

ノートパソコンなど無線 LAN 内蔵のパソコンをお使いの場合や、WPS 接続に対応していない無線 LAN アダプタをお使いの場合は、手動で接続してください。

- ・「Windows Vista で接続する」(P.31)
- ・「Windows XP で接続する」(P.34)
- ・「AirMac (Macintosh の内蔵無線 LAN) で接続する」(P.40)
- ・「手動で接続する」(P.43)

● WPSで接続する

ここでは、WPS対応のCG-WLCB300GNS 付属のクライアントユーティリティを使用して、本商品に接続する手順を例に説明します。



信号を受信しやすいように、本商品と無線LANアダプタを近づけてください。

- 1 クライアントユーティリティを起動し、接続方法選択画面を表示します。[Wi-Fi Protected Setupで自動接続] をクリックします。
詳しくは、「無線クライアントユーティリティ 詳細設定ガイド」(PDF マニュアル) をご覧ください。



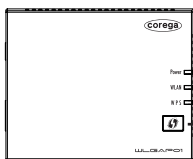
クリックします

- 2 [プッシュボタンによる接続] をクリックします。



クリックします

- 3 本商品のWPS ボタンを2秒以上押します。
WPS LED が点滅していることを確認します。



2秒以上押します



WPS LED の動作は次の表を参考にしてください（数字はおよその秒数を表します）。

クライアント 待受中	
設定完了	

(凡例) ■ : 点灯 □ : 消灯

- 4 クライアントユーティリティ画面で [Wi-Fi PROTECTED SETUP] をクリックします。



クリックします

- 5 アクセスポイントの検索が始まります。



検索は約2分間行いますが、お使いの環境によって時間がかかる場合があります。

- 6 「設定完了」と表示されたら「閉じる」をクリックします。



—— クリックします



「設定に失敗しました」と表示された場合は、「戻る」をクリックし、はじめからやり直してください。

< 設定に失敗した場合 >



—— クリックします

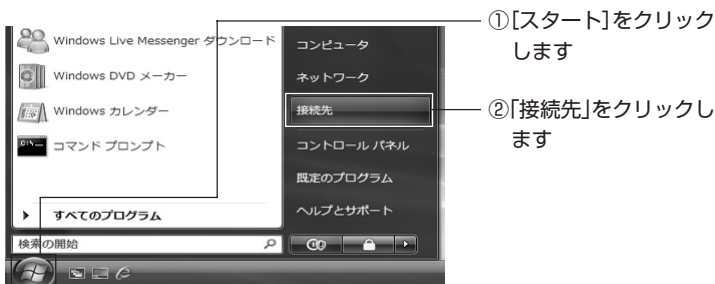
以上で設定は完了です。

ネットワークに接続できることを確認してください。

● Window Vista で接続する

Windows Vista で接続する例を説明します。

- 1 「スタート」－「接続先」をクリックします。



- 2 本商品のネットワーク名 (SSID) を選択して、「接続」をクリックします。



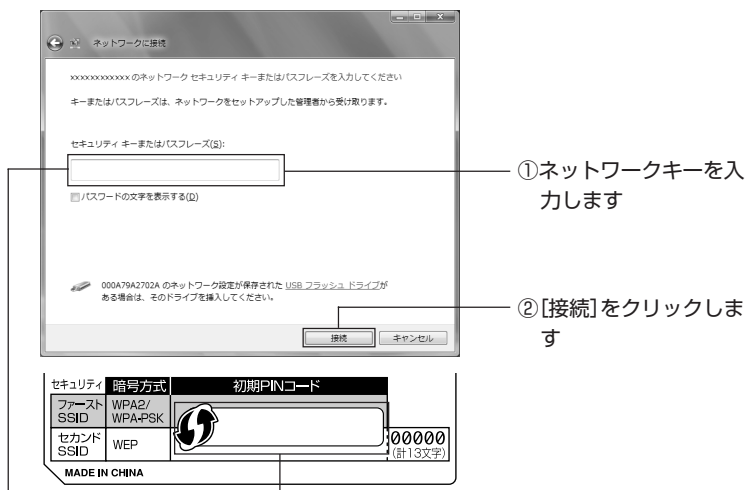
無線設定		ネットワーク名 (SSID)	
ファーストSSID	WPA2/WPA-PSK	ファーストSSID	_G1
セカンドSSID	WEP	セカンドSSID	_G2
セキュリティ		初期PINコード	
ファーストSSID	WPA2/WPA-PSK	000000 (計13文字)	
セカンドSSID	WEP		

MADE IN CHINA



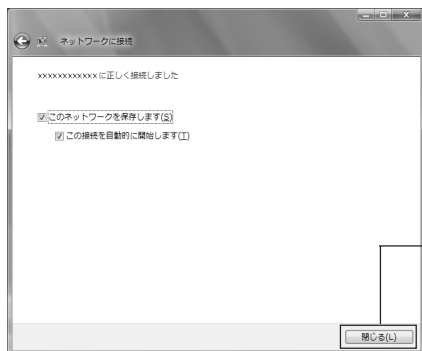
ネットワーク名 (SSID) は、「MAC アドレス _G1」です。MAC アドレスは、製品ごとに数値が異なります。

- 3 「セキュリティキーまたはパスフレーズ」に初期 PIN コードを入力し、**[接続]** をクリックします。



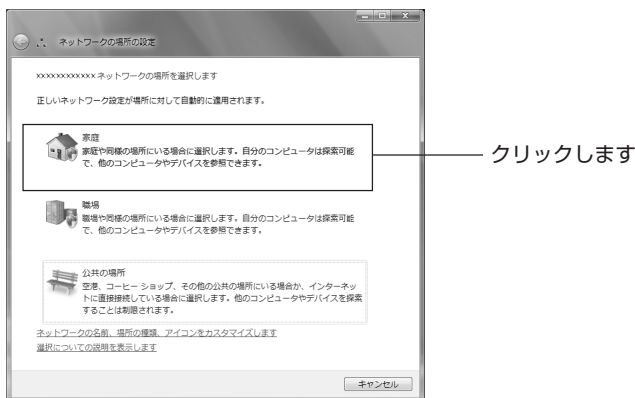
入力する初期 PIN コードは「00000」を抜いた 8 文字です。

- 4 「XXXXXXに正しく接続しました」(XXXXXXは手順2で選択したネットワーク名)と表示されたことを確認して、**[閉じる]** をクリックします。



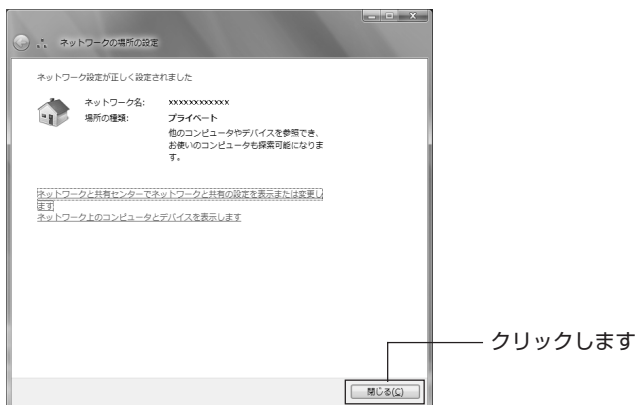
「このネットワークを保存します」および「この接続を自動的に開始します」にチェックを付けておくと、パソコンを起動したときに自動的にネットワークに接続します。

- 5 使用場所を選択する画面が表示されます。通常は「家庭」を選択します。



- 6 「ユーザアカウント制御」画面が表示されます。「続行」をクリックします。

- 7 「ネットワーク設定が正しく設定されました」と表示されます。[閉じる] をクリックします。

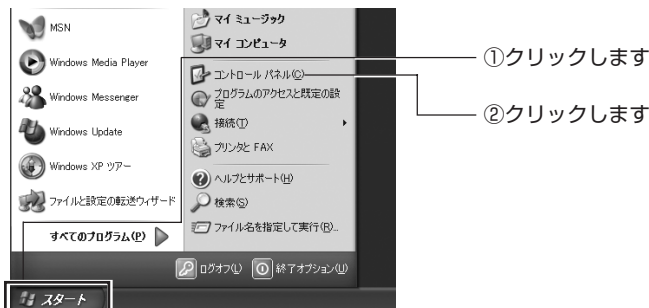


以上で設定は完了です。

● Windows XPで接続する

Windows XPで接続する例を説明します。

- 1 「スタート」－「コントロールパネル」をクリックします。

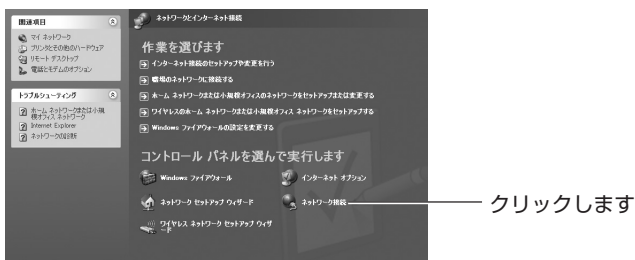


- 2 「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。



クラシック表示の場合は、「ネットワーク接続」をダブルクリックして、手順4に進みます。

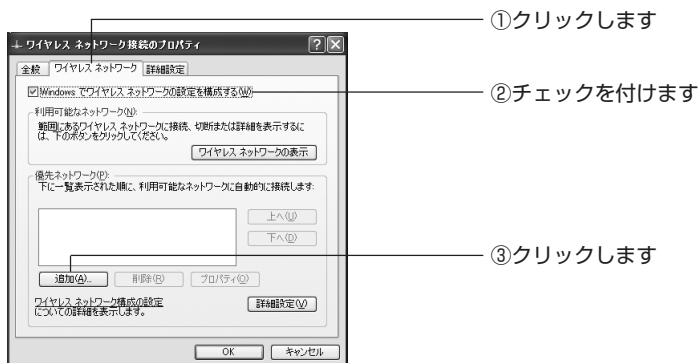
3 「ネットワーク接続」をクリックします。



4 「ワイヤレスネットワーク接続」を右クリックして、プロパティをクリックします。



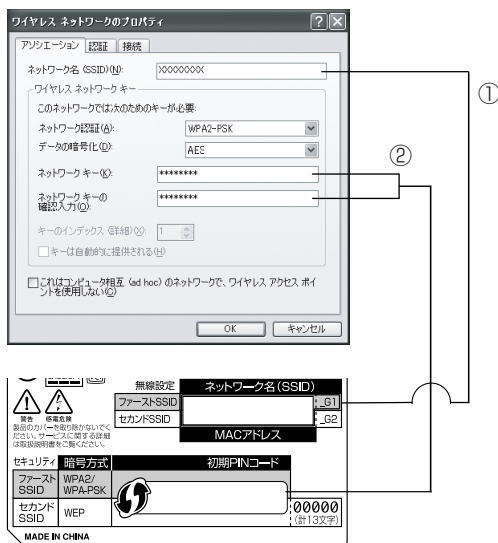
- 5 「ワイヤレスネットワーク」のタブをクリックして、「Windowsでワイヤレスネットワークの設定を構成する」にチェックを付け、[追加]をクリックします。



- 6 「アソシエーション」のタブをクリックします。



- 7 ①ネットワーク名 (SSID) と②ネットワークキー (本体底面の「ネットワーク名 (SSID)」と「初期 PIN コード」をご覧ください) を入力します。

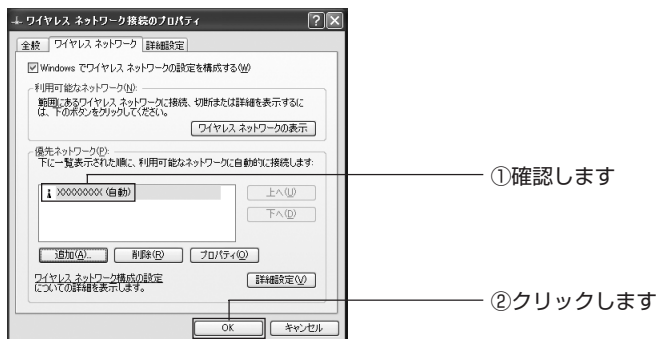


ネットワーク名 (SSID)	本体底面の「ネットワーク名」に記載
ネットワーク認証 (暗号方式)	WPA2 /WPA-PSK
データの暗号化	AES/TKIP
ネットワークキー	本体底面の「初期PINコード」に記載



- ・ ネットワーク名 (SSID) は「ファースト SSID」を入力します。ファースト SSID は、MAC アドレスが「001122334455」を例とした場合、「001122334455_G1」と入力します。
- ・ 初期 PIN コードは、「00000」を抜いた計 8 文字の数値を入力します。
- ・ MAC アドレスと初期 PIN コードは製品ごとに数値が異なります。
- ・ 暗号方式とデータの暗号化はお使いの環境によって異なります。暗号方式が WPA2 の場合は AES を、WPA の場合は TKIP を設定してください。

- 8 「優先ネットワーク」に追加されたことを確認して、[OK] をクリックします。



以上で設定は完了です。

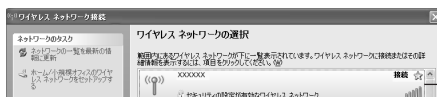
引き続き、ネットワークに接続できることを確認します。

■接続の確認

- 1 「ネットワーク接続」画面を開き (P.35 手順4)、「ワイヤレスネットワーク接続」をダブルクリックします。



- 2 ワイヤレスネットワークが正常に接続されていることを確認します。




以上で接続は完了です。

インターネットに接続できることを確認してください。

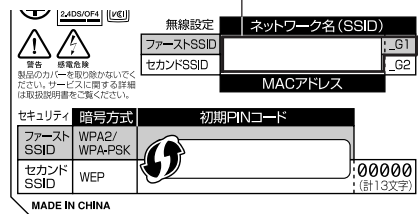
● AirMac (Macintosh の内蔵無線 LAN) で接続する

お使いの環境が Mac OS X (～ 10.4.x) で AirMac (内蔵無線 LAN) を搭載している場合は、次の手順で接続します。

- 1 画面右上のタスクバーにある  をクリックします。

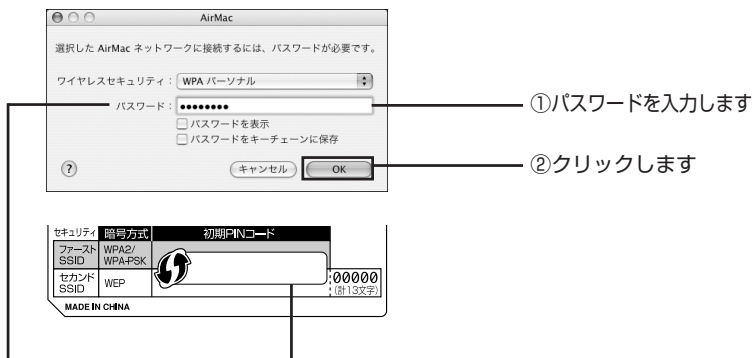


- 2 一覧から本商品のファースト SSID (本体底面の「ネットワーク名 (SSID)」をご覧ください) をクリックします。



- ・ ネットワーク名 (SSID) は「ファースト SSID」を入力します。ファースト SSID は、MAC アドレスが「001122334455」を例とした場合、「001122334455_G1」と入力します。
- ・ MAC アドレスは製品ごとに数値が異なります。

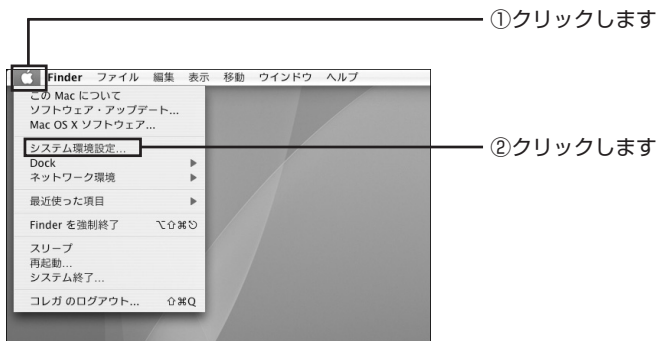
3 「パスワード」に初期PINコードを入力し、[OK] をクリックします。



- ・ 初期PINコードは、「00000」を抜いた計8文字の数値を入力します。
- ・ 初期PINコードは製品ごとに数値が異なります。

■接続の確認

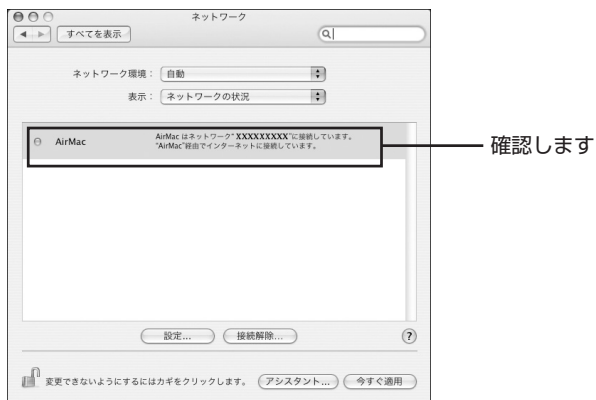
1 画面左上のをクリックし、「システム環境設定」をクリックします。



2 「ネットワーク」をクリックします。



3 インターネットに接続されていることを確認します。



以上で接続は完了です。

インターネットに接続できることを確認してください。

●手動で接続する

パソコンメーカーや周辺機器メーカー独自の無線LAN設定ユーティリティで設定する場合は、次の項目を設定してください。

ネットワーク名SSID	本体底面の「ネットワーク名 (SSID)」
ネットワーク認証 (暗号方式)	WPA2/WPA-PSK
データの暗号化	AES/TKIP
ネットワークキー	本体底面の「初期PINコード」に記載



- ・ ネットワーク名 (SSID) は「ファースト SSID」を入力します。ファースト SSID は、MAC アドレスが「001122334455」を例とした場合、「001122334455_G1」と入力します。
- ・ 初期 PIN コードは、「00000」を抜いた計 8 文字の数値を入力します。
- ・ MAC アドレスと初期 PIN コードは製品ごとに数値が異なります。
- ・ 暗号方式とデータの暗号化はお使いの環境によって異なります。暗号方式が WPA2 の場合は AES を、WPA の場合は TKIP を設定してください。

設定完了後、各設定ユーティリティで無線電波を確認して、ネットワークに接続できることを確認してください。

MEMO

PART5 設定を変更する

ここでは、本商品の設定を変更する手順と、設定画面で設定できる機能について説明します。

設定画面を表示する

設定画面を表示するために、次の手順で設定用パソコンを接続します。

- 1 設定用パソコンを準備します。

設定用パソコンのIPアドレスを、次のとおりに設定します。

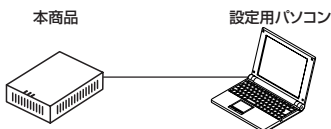
IPアドレス	192.168.1.123*
サブネットマスク	255.255.255.0

※192.168.1.260を除く、192.168.1.1～192.168.1.254の範囲で設定できますが、ここでは192.168.1.123を例に説明します。



パソコンのIPアドレスの設定方法については、「●パソコンのIPアドレスを設定したい」(P.82)をご覧ください。

- 2 本商品と設定用パソコンとを、LAN ケーブルで接続します。



- 3 Webブラウザを起動して、アドレスに「192.168.1.230」と入力して、Enterキー（またはreturnキー）を押します。



入力します

- 4 ログイン画面が表示されますので、ユーザ名に「root」と入力して、[ログイン] をクリックします。



①入力します

②クリックします

- 5 設定画面が表示されます (P.47)。
各設定の完了後、設定用パソコンのIPアドレスなどの設定を元に戻し、
本商品とルータをLANケーブルで接続し直してください。

設定画面の全体構成

本商品の設定画面のトップページです。左側のメニューで各種設定ができるほか、重要な情報を表示します。



※画面は、左側のメニューをすべて表示させた状態です。

① コレガロゴ

インターネット接続時にクリックすると、コレガホームページを表示します。

② ネットワーク名 (SSID)

ファースト SSID を表示します。

「設定」をクリックすると、「802.11g/b 設定」(P.52) を表示します。

③ セキュリティ

ファースト SSID のセキュリティ設定を表示します。

「設定」をクリックすると、「802.11g/b セキュリティ設定」(P.54) を表示します。

④ セカンド SSID

セカンド SSID を表示します。

「設定」をクリックすると、「マルチ AP 設定」(P.58) を表示します。

⑤ [ログアウト]

クリックすると設定画面からログアウトします。再度、設定画面を表示するには、ログアウト画面で「再ログイン」をクリックします。

⑥ [ユーザ登録]

インターネット接続時にクリックすると、コレガホームページでユーザ登録ができます。

⑦ [取扱説明書]

インターネット接続時にクリックすると、コレガホームページで「取扱説明書」(本書)などの最新版をダウンロードできます。

⑧ [Q and A]

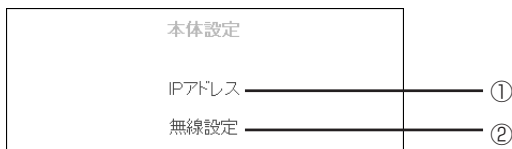
インターネット接続時にクリックすると、コレガホームページのよくあるお問い合わせを表示します。



- ・ 本書では例を使用して説明しています。実際にはお使いの環境に合った値を入力してください。
- ・ 各画面にある「HELP」をクリックすると、設定項目の説明が表示されます。
- ・ 各画面にある「設定」をクリックすると、現在の内容を本商品に設定します。
- ・ 各画面にある「取消」をクリックすると、設定中の内容を取り消します。
- ・ 各画面にある「戻る」をクリックすると、1階層上の画面に戻ります。

●本体設定

本商品の IP アドレス、無線 LAN の設定ができます。



① IP アドレス

クリックすると「IP アドレス」(P.49) を表示します。

本商品の IP アドレスを設定します。

② 無線設定

クリックすると「無線設定」(P.50) を表示します。

本商品の無線 LAN の設定ができます。

●IP アドレス

本商品の IP アドレスを設定します。



① MAC アドレス

本商品の LAN 側の MAC (Media Control Access) アドレスが表示されます。

※ MAC アドレスは変更できません。

② タイプ

IP アドレスの取得方法を選択します。

- ・ IP 自動取得 (DHCP)

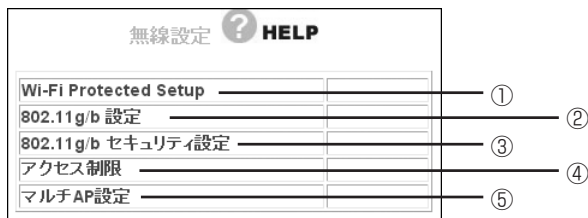
お使いのネットワーク環境に合わせて、ルータが本商品に IP アドレスを割り当てます。

- ・ IP 固定

IP アドレスを手動で設定します。初期値では、IP アドレスが「192.168.1.230」、サブネットマスクが「255.255.255.0」に設定されています。

●無線設定

本商品の無線 LAN の設定ができます。



① Wi-Fi Protected Setup

クリックすると「Wi-Fi Protected Setup」(P.51) を表示します。
無線セキュリティを簡単に設定できる「Wi-Fi Protected Setup」(WPS) の設定画面を表示します。

② 802.11g/b 設定

クリックすると「802.11g/b 設定」(P.52) を表示します。
無線 LAN のネットワーク名 (SSID) などを設定できます。

③ 802.11g/b セキュリティ設定

クリックすると「802.11g/b セキュリティ設定」(P.54) を表示します。
無線 LAN のセキュリティを設定できます。

④ アクセス制限

クリックすると「アクセス制限」(P.57) を表示します。
本商品に接続できる無線クライアントを、MAC アドレスで制限するなどの設定ができます。

⑤ マルチ AP 設定

クリックすると「マルチ AP 設定」(P.58) を表示します。
本商品のセカンド SSID の設定ができます。

● Wi-Fi Protected Setup

無線セキュリティを簡単に設定できる「Wi-Fi Protected Setup」(WPS)の設定画面を表示します。通常は設定を変更する必要はありません。

・ Wi-Fi Protected Setup 有効時

無線設定/Wi-Fi Protected Setup ? HELP

基本設定

Wi-Fi Protected Setup

有効

ステータス

Configured クリアする

無線アクセスポイントPINコード

xxxxxxxxxx 自動生成 設定

※PINコードは半角数字8桁で設定してください

PINコードを初期値に戻す

接続設定

子機のPINコード登録による接続

PINコード:



設定 取消 戻る

・ Wi-Fi Protected Setup 無効時

無線設定/Wi-Fi Protected Setup ? HELP

基本設定

Wi-Fi Protected Setup

無効

設定 取消 戻る

● 802.11g/b 設定

IEEE802.11g/b通信の設定ができます。

設定項目	初期値
ネットワーク名 (SSID)	xxxxxxxx_01
モード	802.11g/b
転送レート	自動設定
チャンネル	自動設定
IPv6マルチキャスト通信	無効
ステルスAP	無効
電波強度	最大
ビーコン間隔	100 ms (初期値: 100, 20~1000)
RTSしきい値	2346 (初期値: 2346, 256~2346)
パケット分割のしきい値	2346 (初期値: 2346, 256~2346)

① ネットワーク名 (SSID)

無線 LAN に接続する機器を識別するネットワークグループ名です。ここではファーストSSIDを表示します。接続するすべてのパソコン（無線クライアント）、ゲーム機に同じ名前を設定します。

※初期値は本商品底面の「ネットワーク名 (SSID)」(ファーストSSID) が記載されています。

② モード

802.11 の動作モードを設定できます。

・ 802.11g/b

802.11g または 802.11b を使用できます (初期値)。

・ 802.11g

802.11g のみを使用できます。

・ 802.11b

802.11b のみを使用できます。

③ 転送レート

転送レート (無線 LAN の通信速度) を変更できます。通常は「自動設定」(初期値) のままお使いください。

転送レートを固定するには、②モードで「802.11g」または「802.11b」に設定したあとで、数値を選択してください。

④ チャンネル

使用する電波の周波数 (無線チャンネル) を設定します。通常は「自動設定」(初期値) のままお使いください。

本商品を複数台使用する場合や、周辺の電波と混信するような場合に、チャンネルを数値を選択してください。

⑤ IPv6 マルチキャスト通信

IPv6 マルチキャスト通信の有効／無効を設定できます。

- ・有効

接続するネットワーク内でIPv6 マルチキャスト通信サービス（4thメディアなど）を使用する場合に選択します。

- ・無効

IPv6 マルチキャスト通信を使用しません（初期値）。

⑥ ステルス AP

無線クライアントから本商品の SSID を検索されないようにしたり、SSID を「ANY」や空白にしている無線クライアントからのアクセスを拒否したりできます。

- ・有効

ステルス AP を有効にします。

- ・無効

ステルス AP を無効にします（初期値）。

⑦ 電波強度

本商品の電波出力の強度を「最大」（初期値）、「50%」、「25%」、「12.5%」、「最小」のいずれかを選択できます。通常は「最大」（初期値）のままでお使いください。

⑧ ビーコン間隔

アクセスポイントが常に発信する、アクセスポイントの情報の入ったショートパケット（ビーコン）の送信間隔を設定できます。通常は「100（ms）」（初期値）のままでお使いください。

⑨ RTS しきい値

無線LANのパケットを送信する前に送信するRTS（送信要求）パケットのしきい値を設定できます。通常は「2346」（初期値）のままでお使いください。

⑩ パケット分割のしきい値

無線LANのパケットを分割するしきい値を設定できます。通常は「2346」（初期値）のままでお使いください。

● 802.11g/b セキュリティ設定

無線 LAN のセキュリティを設定できます。

無線設定 / 802.11g/b セキュリティ設定 ? HELP

認証方式 WPA/WPA2 - PSK ①

暗号方式 自動(AES/TKIP) ②

暗号化 64 Bit - 16進数(0-9/a-f)10桁 ③

WEPキー

キー1 ④

キー2

キー3

キー4

WPA共有キー ⑤

⑥ ASCII文字(8~63文字) ⑦ 16進数(64文字)

DTIM 1 (1-5) ⑥

更新間隔 1800 (0 または 300~1800 秒) ⑦

⑧ 設定 取消 戻る セキュリティ情報書き出し

① 認証方式

無線 LAN の認証方式を設定します。

・ Open System

オープンシステム認証で接続します。②暗号方式は「無効」または「WEP」を設定します。

・ Shared Key

シェアードキー（共有キー）認証で接続します。②暗号方式は「WEP」のみになります。

・ WPA-PSK

WPA-PSK（パーソナル）で接続します。事前共有キーを使用します。②暗号方式は「自動（AES/TKIP）」、「AES」、「TKIP」のいずれかを設定します。

・ WPA2-PSK

WPA2-PSK（パーソナル）で接続します。事前共有キーを使用します。②暗号方式は「自動（AES/TKIP）」、「AES」、「TKIP」のいずれかを設定します。

・ WPA/WPA2-PSK

WPA-PSK（パーソナル）またはWPA2-PSK（パーソナル）で接続します。事前共有キーを使用します。WPA/WPA2-PSKは、無線クライアントがWPA-PSKまたはWPA2-PSKのどちらでも接続できます。②暗号方式は「自動（AES/TKIP）」、「AES」、「TKIP」のいずれかを設定します。

②暗号方式

無線 LAN の暗号方式を設定します。

- ・ 無効

セキュリティを使用しません。①認証方式で「Open System」を設定したときのみ選択できます。

- ・ WEP

WEPで暗号化します。①認証方式で「Open System」または「Shared Key」を設定したときに WEP で暗号化できます。

- ・ 自動 (AES/TKIP)、AES、TKIP

AES または TKIP で暗号化します。①認証方式で「WPA-PSK」、「WPA2-PSK」、「WPA/WPA2-PSK」のいずれかを設定したときに、AESまたはTKIPで暗号化します。⑤WPA共有キーの設定が必要です。

③暗号化

①認証方式で「Open System」または「Shared Key」を設定し、②暗号方式で「WEP」を設定したときに、WEPの暗号強度を次のいずれかに設定します。

- ・ 64Bit-16進数 (0-9/a-f) 10桁
- ・ 128Bit-16進数 (0-9/a-f) 26桁
- ・ 64Bit-ASCII (半角英数記号) 5文字
- ・ 128Bit-ASCII (半角英数記号) 13文字

④ WEP キー

①認証方式で「Open System」または「Shared Key」を設定し、②暗号方式で「WEP」を設定したときに、③暗号化で設定した強度に従って、「キー 1」に WEP の暗号キーを設定します。暗号キーは「キー 1」から「キー 4」の 4 つを設定しておくことができますが、実際に使用する暗号キーは 1 つだけです。チェックを付けたキーが使用されます。

⑤ WPA 共有キー

①認証方式で「WPA-PSK」、「WPA2-PSK」、「WPA/WPA2-PSK」のいずれかを設定したときに WPA 共有キーを設定します。通常は ASCII 文字を使用してください。

- ・ ASCII 文字

8文字以上63文字以内の半角英数字または半角記号で設定します (初期値)。

- ・ 16 進数

64文字以内の16進数 (0-9の半角数字、a-fの半角アルファベット) で設定します。

⑥ DTIM

DTIM（配信トラフィック・インディケータ・メッセージ）の通信間隔の値を設定します。通常は「1」（初期値）のままでお使いください。

⑦ 更新間隔

①認証方式で「WPA-PSK」、「WPA2-PSK」、「WPA/WPA2-PSK」のいずれかを設定したときに、暗号キーを更新する間隔を指定します。通常は「1800（秒）」（初期値）のままでお使いください。更新間隔を短くすると安全性は高くなりますが、通信速度は低下します。

⑧ [セキュリティ情報書出し]

無線 LAN のセキュリティ情報をまとめて表示します。

●アクセス制限

本商品に接続できる無線クライアントを、MACアドレスで制限するなどの設定ができます。

無線設定 / アクセス制限 ? HELP

無線端末間通信 有効 ①

MACアドレスフィルタリング 無効 ②

選択したクライアントのみ接続を許可します。
有効後、新たなクライアントを接続許可するには、接続したい機器のMACアドレスを手入力で追加してください。

MACアドレス: ③ 追加

MACアドレス 編集 ④

設定 取消 戻る

①無線端末間通信

無線クライアント同士の通信の制限を設定できます。

- ・有効

無線クライアントの通信を有効にします（初期値）。

- ・無効

無線クライアント間の通信を無効にします。不特定多数の無線クライアントがアクセスするような環境でプライバシーを守ることができます。

②MAC アドレスフィルタリング

- ・有効

③MAC アドレスで登録した無線クライアントのみ通信を許可します。

- ・無効

すべての無線クライアントの通信を許可します（初期値）。

③MAC アドレス

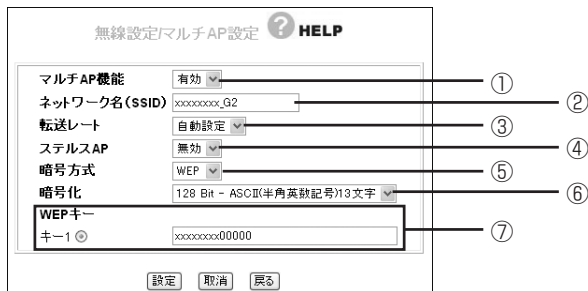
通信を許可したい無線クライアントのMACアドレスを入力し、[追加] をクリックします。④リストに登録されます。

④リスト

③MACアドレスで登録した無線クライアントを表示します。②MACアドレスフィルタリングで「有効」に設定した場合に、チェックを付けた無線クライアントのみ通信を許可します。

●マルチ AP 設定

本商品のセカンド SSID の設定ができます。



①マルチ AP 機能

マルチ AP 機能を使用するかどうか設定します。

- ・有効

マルチ AP 機能が使用できます (初期値)。ファースト SSID とセカンド SSID が使用できます。

- ・無効

マルチ AP 機能が使用できません。ファースト SSID のみ使用できます。

②ネットワーク名 (SSID)

無線 LAN に接続する機器を識別するネットワークグループ名です。ここではセカンド SSID を表示します。セカンド SSID に接続するすべてのパソコン (無線クライアント)、ゲーム機に同じ名前を設定します。

※初期値は本商品底面の「ネットワーク名 (SSID)」(セカンド SSID) に記載されています。

③転送レート

転送レート (無線 LAN の通信速度) を表示します。「自動設定」(初期値) のみで変更できません。

④ステルス AP

無線クライアントから本商品の SSID を検索されないようにしたり、SSID を「ANY」や空白にしている無線クライアントからのアクセスを拒否したりできます。

- ・有効

ステルス AP を有効にします。

- ・無効

ステルス AP を無効にします（初期値）。

⑤暗号方式

無線 LAN の暗号方式を設定します。

- ・無効

セキュリティを使用しません。

- ・WEP

WEP で暗号化します（初期値）。⑥暗号化および⑦WEP キーの設定が必要です。

⑥暗号化

WEP の暗号強度を次のいずれかに設定します。

- ・64Bit-16 進数（0-9/a-f）10 桁

- ・128Bit-16 進数（0-9/a-f）26 桁

- ・64Bit-ASCII（半角英数記号）5 文字

- ・128Bit-ASCII（半角英数記号）13 文字（初期値）

⑦ WEP キー

⑤暗号方式で「WEP」を設定したときに、⑥暗号化で設定した強度に従って、「キー 1」に WEP の暗号キーを設定します。

※初期値は本商品底面の「初期 PIN コード」（セカンド SSID）に記載されています。

●管理

本商品を管理するための機能です。

The screenshot shows a web interface titled '管理' (Management) with a 'HELP' icon. It contains several input fields and buttons, each labeled with a circled number from 1 to 9:

- ①: 管理者ログイン名 (Administrator Login Name) input field, containing 'root'.
- ②: 管理者ログイン・パスワード (Administrator Login Password) input field.
- ③: パスワードの確認 (Confirm Password) input field.
- ④: 工場出荷時の状態へ戻す (Return to factory default state) button, labeled '実行' (Execute).
- ⑤: 再起動 (Restart) button, labeled '実行' (Execute).
- ⑥: 設定保存 (Save Settings) button, labeled '保存' (Save).
- ⑦: 設定読込 (Load Settings) button, labeled '読込' (Load).
- ⑧: ファームウェア更新 (Firmware Update) button.
- ⑨: PINGテスト (PING Test) button.

At the bottom of the form are three buttons: '設定' (Settings), '取消' (Cancel), and '戻る' (Back).

①管理者ログイン名

設定画面へのログイン名を変更します（初期値：root）。

②管理者ログイン・パスワード

設定画面へのログイン・パスワードを設定できます（初期値：空欄）

③パスワードの確認

管理者ログイン・パスワードを変更する場合は、確認のため②で入力したパスワードを入力します。

④工場出荷時の状態へ戻す

本商品の設定を工場出荷時の初期設定に戻します。

「工場出荷時の状態に戻したい」（P.79）

⑤再起動

本商品を再起動します。

「再起動したい」（P.77）

⑥設定保存

現在の設定内容をファイルに保存することができます。

「設定を保存したい／元に戻したい」（P.74）

⑦設定読込

⑥設定保存で保存した設定内容を読み込みます。

「設定を保存したい／元に戻したい」（P.74）

⑧ファームウェア更新

本商品のファームウェアを更新することができます。

「最新のファームウェアを入手して更新したい」（P.70）をご覧ください。

⑨PING テスト

「PING テスト」（P.61）を表示します。

●PINGテスト

本商品に接続しているほかのパソコンが、通信可能な状態かどうか確認するためのテストをします。

管理 / PINGテスト ? HELP

宛先アドレス:

[実行]

※結果の表示には数秒から十数秒かかります

宛先	未入力
実行結果	未実行

①宛先アドレス

テストを実行するパソコンのIPアドレスを入力し、[実行] をクリックすると、PING テストを開始します。

②宛先／実行結果

PING テストの結果が表示されます。

●ステータス

本商品の状態を表示します。

ステータス ? HELP

ファームウェア・バージョン: 1.00

システム稼働時間: 22 分 18 秒

本体状態	MACアドレス: 00:04:17:96:04:21 サブネットマスク: 255.255.255.0 IPアドレス: 192.168.1.230
無線状態	状態: 無線アクセス有効 MACアドレス: 00:04:17:96:04:21 モード: 802.11g/b チャンネル: 10 ネットワーク名 (SSID): xxxxxxxx_G1 セキュリティ: WPA/WPA2-PSK TKIP/AES マルチAP機能: 有効 BSSID: 06:04:17:96:04:21 セカンド SSID: xxxxxxxx_G2 セキュリティ: OPEN WEP

[更新]

①ファームウェア・バージョン

ファームウェアのバージョンを表示します。

②システム稼働時間

連続稼働時間を表示します。再起動や初期化すると稼働時間はリセットされます。

③本体状態

LAN 側の状態を表示します。

- ・ MAC アドレス
MAC アドレスを表示します。
- ・ IP アドレス
IP アドレスを表示します。
- ・ サブネットマスク
サブネットマスクを表示します。

④無線状態

無線の状態を表示します。

- ・ 状態
無線 LAN の状態を表示します。
- ・ MAC アドレス
MAC アドレスを表示します。
- ・ モード
無線 LAN の動作モードを、802.11g/b、802.11g、802.1b のいずれかで表示します。
- ・ チャンネル
無線 LAN で使用しているチャンネルを表示します。
- ・ ネットワーク名 (SSID)
無線 LAN のネットワーク名 (SSID) を表示します。
- ・ セキュリティ
設定しているセキュリティを表示します。
- ・ マルチ AP 機能
マルチ AP 機能の状態を表示します。
- ・ BSSID
マルチ AP 機能使用時の BSSID を表示します。
- ・ セカンド SSID
マルチ AP 機能使用時のネットワーク名 (セカンド SSID) を表示します。
- ・ セキュリティ
マルチ AP 機能使用時にセカンド SSID に設定しているセキュリティを表示します。

トラブル解決と Q&A

この PART では、お客様からトラブルのときによくお問い合わせのある質問を記載しています。回答が記載されていない場合は、「トラブル・疑問が解決しないときは」(P.89) をご覧になり、コレガサポートセンタまでお問い合わせください。

本商品のトラブル



本商品の設定ができない

●セキュリティソフトが動作していませんか？

セキュリティソフトが動作していると、本商品の設定ができない場合があります。設定する場合は、一時的にパソコンのセキュリティソフトの動作を停止させてください。停止方法はお使いのセキュリティソフトの取扱説明書をご覧ください。



ご購入時にすでにセキュリティソフトがインストールされていたパソコンは、パソコンメーカーへお問い合わせください。

●OSのファイアウォール機能が動作していませんか？(Windows Vista/XP SP2のみ)

OSのファイアウォール機能が動作していると、本商品の設定ができない場合があります。次の手順で一時的にファイアウォール機能を停止させてください。



本商品の設定が完了後、必ず Windows ファイアウォールの設定を元に戻してください。

< Windows Vista の場合 >

- 1 [スタート] - 「コントロールパネル」の順に選択します。

- 2 「セキュリティ」の「Windows ファイアウォールによるプログラムの許可」をクリックします。
- 3 「ユーザー アカウント制御」画面が表示されます。[続行] をクリックします。
- 4 「Windows ファイアウォール」画面の「全般」タブを選択し、「無効 (推奨されません)」にチェックを付けて [OK] をクリックします。

< Windows XP SP2 の場合 >

- 1 「スタート」－「コントロール パネル」の順に選択します。
- 2 「セキュリティ センター」－「Windows ファイアウォール」(画面の下方にあります)の順にダブルクリックします。クラシック表示を使用している場合は、「Windows ファイアウォール」をダブルクリックします。
- 3 「Windows ファイアウォール」画面の「全般」タブを選択し、「無効 (推奨されません)」にチェックを付けて [OK] をクリックします。

●ダイヤルアップ接続の設定や LAN の設定がされていませんか？

次の手順で本商品に接続するすべてのパソコンのInternet Explorerの設定をご確認ください。

- 1 Internet Explorer を起動し、「ツール」－「インターネットオプション」を選択して「接続」タブを選択します。
- 2 「ダイヤルしない」が選択されているか、グレーの表示で選択できない状態であることを確認します。
- 3 [LANの設定] をクリックし、「ローカル エリア ネットワーク (LAN) の設定」画面を開いて、すべての項目にチェックが付いていないことを確認します。
- 4 「ローカル エリア ネットワーク (LAN) の設定」画面の [OK] をクリックして画面を閉じ、インターネットオプション画面の [OK] をクリックして画面を閉じます。

● Internet Explorer がオフラインになっていませんか？

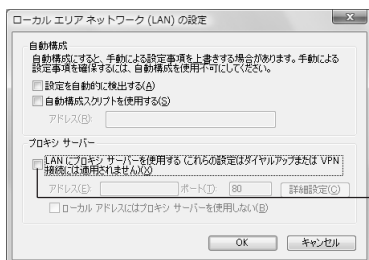
Internet Explorer を起動し、「ファイル」メニューにある「オフライン作業」にチェックが付いていないことを確認します。クリックしてチェックが付いている場合は、チェックを外します。

● プロキシサーバを使用していませんか？

次の手順でプロキシサーバを使用していないことを確認してください。


< Internet Explorer をお使いの場合 >

- 1 Internet Explorer を起動して、「ツール」－「インターネットオプション」を選択して「接続」タブを選択します。
- 2 「LAN 設定」をクリックし、「ローカル エリア ネットワーク (LAN) の設定」画面を開いて、プロキシサーバの項目チェックが付いていることを確認してください。



チェックが付いていないことを確認します

< Safari をお使いの場合 >

- 1 画面左上のをクリックし、「システム環境設定」をクリックします。
- 2 システム環境設定画面の「ネットワーク」をクリックします。
- 3 「AirMac」をクリックします。

- 5 「この接続は次の項目を使用します」の一覧から「インターネット プロトコル バージョン4 (TCP/IPv4)」を選択し、[プロパティ] をクリックします。
- 6 「IPアドレスを自動的に取得する」と「DNS サーバのアドレスを自動的に取得する」が選択されていることを確認します。
- 7 [OK] または [閉じる] をクリックし、「インターネット プロトコル バージョン4 (TCP/IPv4)」－「ワイヤレス ネットワーク接続のプロパティ」(有線の場合は「ローカル エリア接続のプロパティ」) の順に画面を閉じます。

〈Windows XP の場合〉

- 1 「スタート」－「コントロールパネル」－「ネットワークとインターネット 接続」－「ネットワーク接続」の順に選択します。

「ネットワークとインターネット接続」が表示されていない場合は、画面左側の「カテゴリの表示に切り替える」を選択します。

- 2 無線でお使いの場合は「ワイヤレス ネットワーク接続」を、有線でお使いの場合は「ローカル エリア接続」を右クリックし、「プロパティ」を選択します。
- 3 「この接続は次の項目を使用します」の一覧から「インターネット プロトコル (TCP/IP)」を選択し、[プロパティ] をクリックします。
- 4 「IPアドレスを自動的に取得する」と「DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する」が選択されていることを確認します。
- 5 [OK] または [閉じる] をクリックし、「インターネット プロトコル (TCP/IP) のプロパティ」－「ワイヤレス ネットワーク接続のプロパティ」(有線の場合は「ローカル エリア接続のプロパティ」) の順に画面を閉じます。

〈Windows 2000 の場合〉

- 1 「スタート」－「設定」－「コントロールパネル」の順に選択します。
- 2 「ネットワークとダイヤルアップ接続」をダブルクリックします。
- 3 「ローカルエリア接続」を右クリックし、「プロパティ」を選択します。
- 4 「インターネットプロトコル (TCP/IP)」を選択し、[プロパティ] をクリックします。
- 5 「IP アドレスを自動的に取得する」と「DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する」が選択されていることを確認します。
- 6 [OK] をクリックし、「インターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパティ」－「ローカルエリア接続のプロパティ」の順に画面を閉じます。

〈Windows Me / 98SE の場合〉

- 1 「スタート」－「設定」－「コントロールパネル」の順に選択します。
- 2 「ネットワーク」をダブルクリックします。



Windows Me で「ネットワーク」が表示されない場合は、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」を選択してください。

- 3 「TCP/IP->xxxxx(お使いのネットワークアダプタ名が表示されます)」を選択し、[プロパティ] をクリックします。
- 4 「IP アドレス」タブを選択し、「IP アドレスを自動的に取得」が選択されていることを確認します。
- 5 [OK] をクリックし、「ネットワークのプロパティ」を閉じます。再起動を促すメッセージが表示された場合はパソコンを再起動します。

● **Windows XP 用更新プログラム「KB893357」はインストールされていますか？**

無線 LAN 内蔵パソコンからの接続のように、Windows XP に標準搭載されているワイヤレス ネットワークから接続する場合は、お使いの環境によって「次のネットワークにログインするのに必要な証明書が見つかりませんでした」と表示されます。その場合は、Windows XP 用更新プログラム「KB893357」をインストールしてください。

検索サイトで「KB893357」で検索して、Microsoft 社のホームページでダウンロードしてください。

● **セカンド SSID で設定された無線ネットワークではありませんか？**

セカンド SSID で設定された無線ネットワークでは、本商品の設定画面を表示させることができません。ファースト SSID（本商品底面の「ネットワーク名（SSID）」に記載されています）で設定したパソコン、または有線で接続したパソコンで設定画面を表示させてください。

よくあるご質問

よくあるご質問とその回答を説明しています。

「●最新のファームウェアを入手して更新したい」(P.70)

「●設定を保存したい／元に戻したい」(P.74)

「●再起動したい」(P.77)

「●工場出荷時の状態に戻したい」(P.79)

「●パソコンのIPアドレスを調べたい」(P.81)

「●パソコンのIPアドレスを設定したい」(P.82)

●最新のファームウェアを入手して更新したい

本商品の機能強化のため予告なくファームウェアをバージョンアップすることがあります。最新のファームウェアはコレガホームページ (<http://corega.jp/>) から入手してください。



- ・更新するファームウェアのバージョンによっては、更新前に設定されていたデータが反映されない場合があります。
- ・ファームウェアを更新する前に設定内容をファイルに保存しておくことをお勧めします (P.74)。
- ・ファームウェアを更新中は、ほかの操作を行ったり、本商品の電源を切ったりしないでください。更新に失敗したり、本商品の故障の原因となる場合があります。

■ファームウェアを準備する

- 1 コレガホームページ (<http://corega.jp/>) で確認します。
コレガホームページのダウンロードページで、最新のファームウェアが公開されているか確認します。最新ファームウェアが公開されている場合はファイルをダウンロードします。



最新ファームウェアが公開されていない場合は、更新する必要はありません。Macintoshをお使いの場合は、「.sit」の拡張子のファイルをクリックしてダウンロードしてください。

2 ファイルを解凍します。

ダウンロードしたファイルは圧縮されているため、解凍する必要があります。次の手順は Windows Vista の場合を例に説明します。

① ダウンロード先のフォルダを開き、ファイルをダブルクリックします。



ダブルクリックします

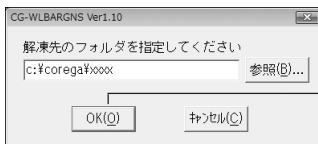
② 「実行」 をクリックします。



クリックします

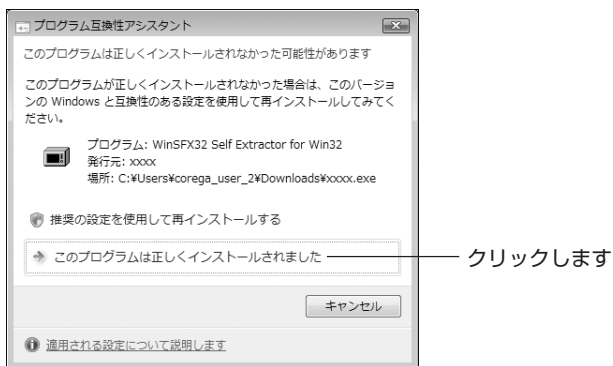
③ 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されますので、「許可」をクリックします。

④ 「OK」 をクリックします。



クリックします

- ・標準の状態では、「C:\corega\xxxx」フォルダに解凍されます（「xxxx」フォルダはファームウェアによって異なります）。解凍先を指定する場合は、[参照] をクリックして場所を指定してください。
- ・Windows Vistaでは引き続き次の画面が表示される場合があります。その場合は、「このプログラムは正しくインストールされました」をクリックしてください（弊社で動作を確認しています）。



以上で、ファームウェア更新の準備ができました。引き続き、「■ファームウェアを更新する」に進みます。

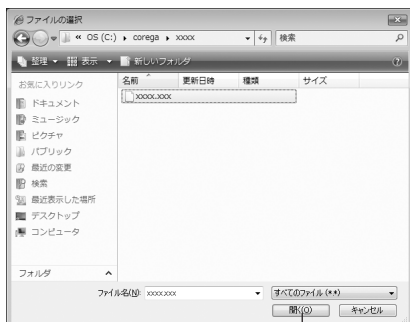
■ファームウェアを更新する

ここでは、「C:\corega\xxxx」フォルダに最新のファームウェアを保存した場合を例に説明します（「xxxx」フォルダはファームウェアによって異なります）。

- 1 設定画面を開き、「管理」－「ファームウェア更新」をクリックします。設定画面を開く手順は、「設定画面を表示する」(P.45)をご覧ください。
- 2 [参照] をクリックします。



- 3 ファームウェアを選択して、[開く] をクリックします。



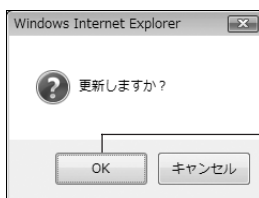
クリックします

- 4 [ファームウェア更新] をクリックします。



クリックします

- 5 [OK] をクリックします。
ファームウェアの更新が始まります。



クリックします



ファームウェアの更新中は、ほかの操作を行ったり、本商品の電源を切ったりしないでください。ファームウェアのアップデートに失敗すると、本商品が故障するおそれがあります。

- 6 ファームウェア更新中は次の画面が表示されます。更新が完了するまでお待ちください。

ファームウェアを更新しています。
更新中は電源を切らないでください。
更新完了まであと 99 秒お待ちください。

- 7 更新が完了するとログイン画面が表示されます。Web ブラウザを閉じます。
- 8 本商品を工場出荷時の状態に戻します。初期化ボタンを 15 秒以上押し、Power LED が点滅したら離します。

以上で、ファームウェアが更新されました。

●設定を保存したい／元に戻したい

設定した内容をファイルに保存しておくことや、保存した設定ファイルを読み込んで本商品を設定することができます。

■設定を保存する

- 1 設定画面を開き、「管理」をクリックします。
設定画面を開く手順は、「設定画面を表示する」(P.45) をご覧ください。
- 2 「設定保存」の「保存」をクリックします。

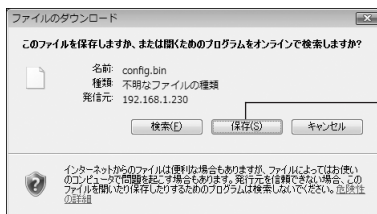
管理 ? HELP

管理者ログイン名	root
管理者ログイン・パスワード	
パスワードの確認	
工場出荷時の状態へ戻す	実行
再起動	実行
設定保存	保存
設定読込	読込
ファームウェア更新	
PINGテスト	

設定 取消 戻る

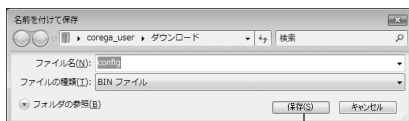
クリックします

3 「保存」をクリックします。



クリックします

4 「保存」をクリックします。



クリックします

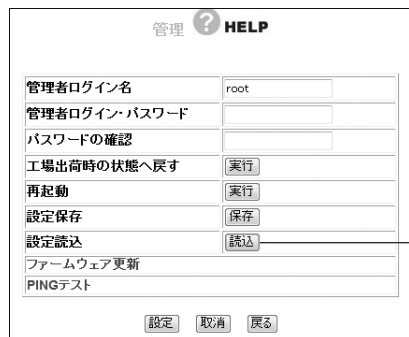
以上で、本商品に設定した内容をファイルに保存しました。

■設定を元に戻す

1 設定画面を開き、「管理」をクリックします。

設定画面を開く手順は、「設定画面を表示する」(P.45)をご覧ください。

2 「設定読込」の「読込」をクリックします。



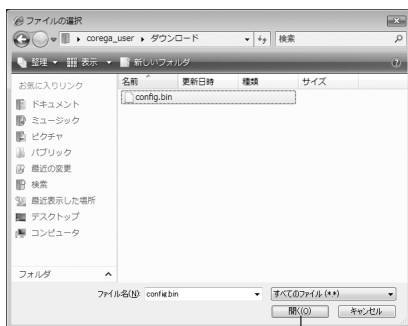
クリックします

3 [参照] をクリックします。



クリックします

4 保存した設定ファイルを選択して、[開く] をクリックします。



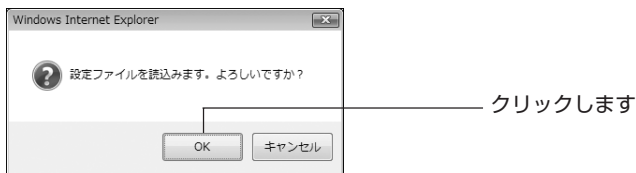
クリックします

5 [読み込み] をクリックします。

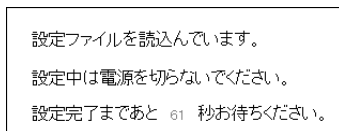


クリックします

- 6 [OK] をクリックします。



- 7 次の画面が表示されます。設定が完了するまでお待ちください。



- 8 設定が完了するとログイン画面が表示されます。Web ブラウザを閉じます。

以上で、本商品の設定が完了しました。

●再起動したい

設定の変更やファームウェアの更新など、本商品の状態を変更した場合は、本商品を再起動して設定を反映させてください。
本商品を再起動するには、次の2とおりの方法があります。

■電源を入れ直す

AC アダプタを電源コンセントから抜き、30 秒以上時間を空けてから電源コンセントに差し込みます。

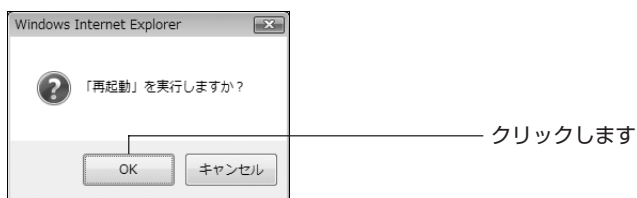
■設定画面で再起動する

- 1 設定画面を開き、「管理」をクリックします。
設定画面を開く手順は、「設定画面を表示する」(P.45) をご覧ください。

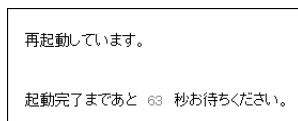
- 2 「再起動」の「実行」をクリックします。



- 3 [OK] をクリックします。



- 4 次の画面が表示されますので、再起動が完了するまでお待ちください。



- 5 ログイン画面が表示されます。Web ブラウザを閉じます。

以上で、本商品が再起動しました。

●工場出荷時の状態に戻したい

本商品の設定を工場出荷時の状態に戻すことができます。設定した内容がすべて消去されますので、設定内容を保存しておくことをお勧めします (P.74)。

工場出荷時の状態に戻す方法は次の2とおりの方法があります。

■初期化ボタンで工場出荷時の状態に戻す

- 1 初期化ボタンを15秒以上押して離します。
- 2 Power LED および WLAN LED が、いったん消灯してから点灯します。

以上で、本商品が工場出荷時の状態に戻りました。

■設定画面で工場出荷時の状態に戻す

- 1 設定画面を開き、「管理」をクリックします。
設定画面を開く手順は、「設定画面を表示する」(P.45) をご覧ください。
- 2 「工場出荷時の状態へ戻す」の「実行」をクリックします。

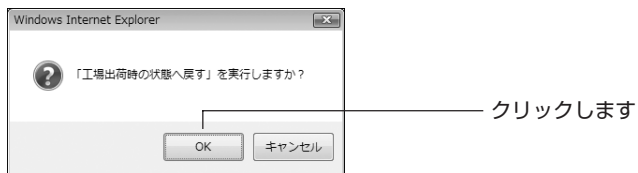
The screenshot shows a management menu with the title '管理 ? HELP'. It contains several settings and actions:

管理者ログイン名	root
管理者ログイン・パスワード	
パスワードの確認	
工場出荷時の状態へ戻す	実行
再起動	実行
設定保存	保存
設定読み込み	読み込み
ファームウェア更新	
PINGテスト	

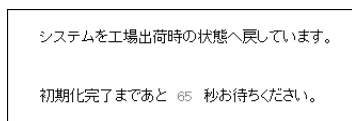
At the bottom of the menu are three buttons: '設定' (Settings), '取消' (Cancel), and '戻る' (Back).

—— クリックします

- 3 [OK] をクリックします。



- 4 次の画面が表示されますので、工場出荷時の状態に戻るまでお待ちください。



- 5 ログイン画面が表示されます。Web ブラウザを閉じます。

以上で、本商品が工場出荷時の状態に戻りました。

●パソコンの IP アドレスを調べたい

パソコンの IP アドレスやネットワーク環境は次の方法で確認できます。Windows 以外の OS をお使いの場合は、OS のヘルプや取扱説明書をご覧ください。

- 1 コマンドプロンプトを起動します。
「スタート」－「すべてのプログラム」(Windows 2000 の場合は「プログラム」)－「アクセサリ」－「コマンドプロンプト」の順にクリックします。
- 2 ipconfig コマンドを入力します。
コマンドプロンプト上で、キーボードから「ipconfig」と入力して「Enter」キーを押します。

```
Microsoft Windows [Version 6.0.6000]  
Copyright (c) 2006 Microsoft Corporation. All rights reserved.  
C:\>ipconfig
```

「ipconfig」と入力し、
Enterキーを押します

- 3 内容を確認します。
「IPv4 アドレス」(「IP Address」) に表示された数字が、お使いのパソコンの「IP アドレス」です。
「サブネットマスク」(「Subnet Mask」)、「デフォルトゲートウェイ」(「Default Gateway」) に表示された数字がネットワーク環境です。

```
Microsoft Windows [Version 6.0.6000]  
Copyright (c) 2006 Microsoft Corporation. All rights reserved.  
C:\>ipconfig  
  
Windows IP 構成  
  
イーサネット アダプタ ローカル エリア接続:  
接続固有の DNS サフィックス . . . : X0000X.X000X  
リンクローカル IPv6 アドレス. . . : X000:::X000X:X000X:X000X  
IPv4 アドレス. . . . . : 192.168.1.22  
サブネット マスク. . . . . : 255.255.255.0  
デフォルト ゲートウェイ . . . . : 192.168.1.1  
  
C:\>
```

IPアドレスを確認します
※画面は例です。

●パソコンのIPアドレスを設定したい

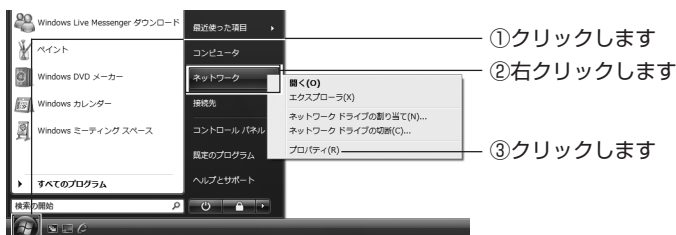
本商品の設定画面を表示するには、以下の手順でパソコンのIPアドレスを設定する必要があります。

■ Windows Vista の場合



必ず「コンピュータの管理者」または「Administrator (アドミニストレータ)」権限であるユーザでログインしてください。

- 1 ネットワークと共有センターを表示します。
「スタート」をクリックします。[ネットワーク] を右クリックして「プロパティ」をクリックします。



- 2 ローカルエリア接続の状態を表示します。
[状態の表示] をクリックします。



- 3 ローカルエリア接続のプロパティを表示します。
[プロパティ] をクリックします。

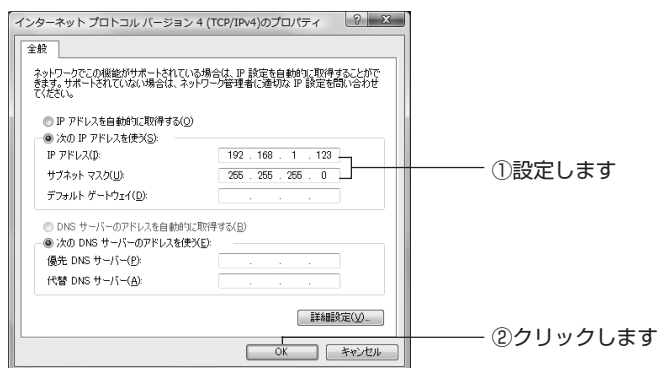


- 4 「ユーザアカウント制御」が表示されます。
[続行] をクリックします。
- 5 TCP/IPのプロパティを表示します。
「インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)」を選択して、
[プロパティ] をクリックします。



6 IPアドレスを設定します。

次の項目を設定して、[OK] ボタンをクリックします。



IPアドレス	192.168.1.XXX (XXXは1～254で、230以外の任意の数値)
サブネットマスク	255.255.255.0

7 画面を閉じます。

「ローカルエリア接続のプロパティ」で [OK] をクリックして画面を閉じます。

以上で、本商品の設定画面を表示するための IP アドレスの設定は完了しました。

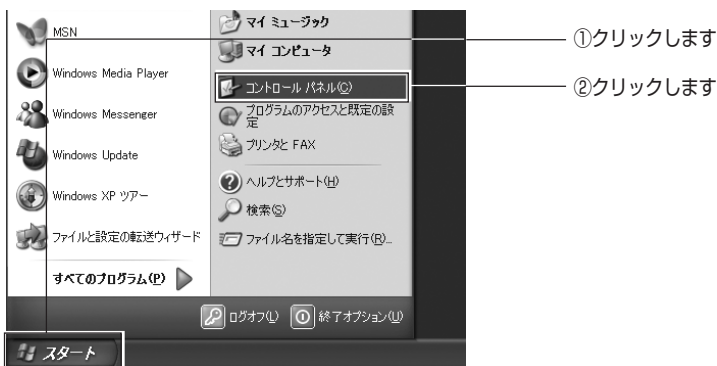
■ Windows XP/2000 の場合



- ・本書ではWindows XP Professionalを例に説明しています。お使いの環境によって表示される画面が異なる場合があります。
- ・管理者 (Administrator) 権限でパソコンにログオンしてください。

1 コントロールパネルを表示します。

「スタート」－「コントロールパネル」をクリックします。(Windows 2000の場合は、「スタート」－「設定」－「コントロールパネル」をクリックします。)



2 ネットワーク接続を表示します。

「コントロールパネル」の「ネットワークとインターネット接続」をクリックして、「ネットワーク接続」をクリックします (Windows 2000の場合は、「コントロールパネル」の「ネットワーク接続」をダブルクリックします)。

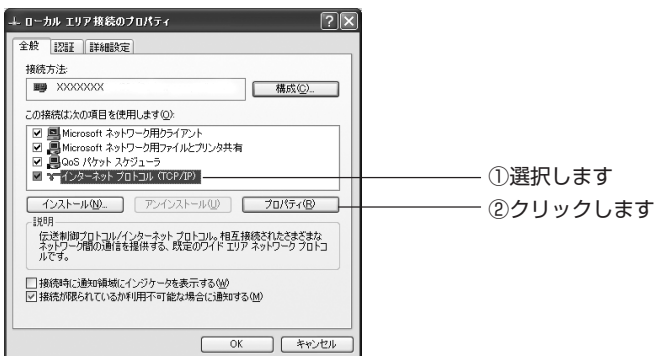


Windows XPで「ネットワークとインターネット接続」が表示されていない場合は、画面左側の「カテゴリの表示に切り替える」をクリックしてください。

- 3 ローカルエリア接続のプロパティを表示します。
「ローカルエリア接続」を右クリックして、「プロパティ」をクリックします。

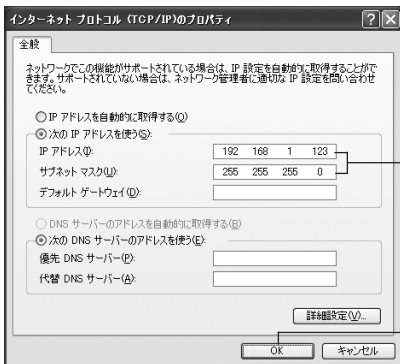


- 4 TCP/IPのプロパティを設定します。
「インターネットプロトコル (TCP/IP)」を選択し、[プロパティ] をクリックします。



5 IPアドレスを設定します。

「次のIPアドレスを使う」を選択し、次のようにIPアドレスとサブネットマスクの設定をして [OK] をクリックします。

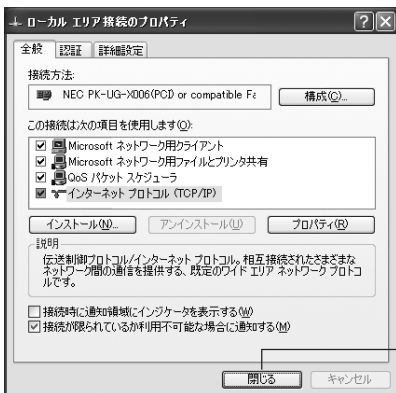


①設定します

②クリックします

6 設定を適用します。

「ローカルエリア接続のプロパティ」画面で [閉じる] をクリックします。



クリックします

7 再起動します。

再起動を促すダイアログボックスが表示された場合は、パソコンを再起動します(ダイアログボックスが表示されなかった場合も、手動で再起動してください)。

以上で、設定用パソコンのネットワーク設定は完了です。

トラブル・疑問が解決しないときは

本書に記載された手順以外の方法をコレガのホームページでお知らせしていることもありますので、あわせてご覧ください。

●コレガホームページ

<http://corega.jp/>

●マニュアルをダウンロードしたいときは

<http://corega.jp/support/manual/>

●「よくある問い合わせ」を見る

<http://corega.jp/faq/>

本商品の設定が完了していない場合は、モデムにパソコンを直接接続してコレガホームページをご覧ください。

- ・サポート内容、電話番号など、予告なく変更する場合があります。最新情報はコレガホームページ（<http://corega.jp/>）をご覧ください。
- ・製品のお問い合わせは、メール、FAX、電話のいずれかをご利用ください（弊社へのお持込によるお問い合わせは承っておりません）。
- ・本商品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、日本語版 OS のみ動作を保証しています。そのため、日本語版 OS 以外のお問い合わせはお受けできませんのでご了承ください。
- ・サポートセンタへのお問い合わせは日本語に限らせていただきます（This product is supported by Japanese only.）。
- ・電話が混み合っている場合は、メールまたは FAX をご利用ください。

メールでのお問い合わせ

お問い合わせの前に、あらかじめコレガのユーザサイト「corePark」でユーザ登録が必要となります。

●corePark アドレス

<http://corega.jp/support/inquiry/mailfaq.htm>

受け付けは24時間行っております。質問の回答は弊社営業日に随時メールにて行っております。

FAX でのお問い合わせ

●コレガサポートセンタ

FAX 番号：045-476-6294

コレガホームページよりダウンロードした「お問い合わせ用紙」をプリントアウトの上、必要事項をご記入ください。「お問い合わせ用紙」は次の URL からダウンロードできます。

・「お問い合わせ用紙」のダウンロード

http://corega.jp/support/inquiry/support_2.pdf

●必要事項

- ・製品名、型番
- ・ご購入日、ご購入店
- ・お客様のお名前、電話番号（連絡が必ず取れる番号）、FAX 番号
- ・ご利用のネットワーク環境の詳細※¹
- ・トラブルの詳細※²

※ 1 ご利用のネットワーク環境の詳細で「モデムの製品名」「プロバイダ名」「回線卸業者（フレッツ、アッカなど）」「IP 電話の使用の有無」「有線・無線 LAN アダプタの製品名」「（無線の場合）無線ルータまたは無線アクセスポイントから無線 LAN アダプタまでの距離」などの記入がない場合は的確な回答が難しくなります。お手数ではございますが、できるかぎり詳しくお知らせください。

※ 2 トラブルの内容が「マニュアルどおりに設定しても設定できない」という場合は、マニュアルのタイトル、設定できたページ範囲をお知らせください。

電話でのお問い合わせ

●コレガサポートセンタ

電話番号：045-476-6268

受付時間：10：00～12：00、13：00～18：00

（祝・祭日を除く月～金、ただし弊社指定営業日は除く）

電話でのお問い合わせには、おかけ間違いのないよう番号をお確めの上、お問い合わせください。

故障と思われる現象が生じた場合は、コレガのホームページよりダウンロードした「修理依頼用紙」をプリントアウトの上、必要事項をご記入ください。「修理依頼用紙」は次の URL からダウンロードできます。

・修理依頼用紙のダウンロード

http://corega.jp/support/inquiry/support_3.pdf

●ご購入の販売店にお持ちいただくもの

- ・修理依頼用紙
- ・製品保証書
- ・製品の購入日が証明できるもの（レシートなど可）
- ・製品本体（AC アダプタなどの付属品一式を含む）

●修理をご依頼する際のご注意

- ・弊社へのお持込による修理は受け付けておりません。
- ・修理期間中の代替機等は弊社では用意しておりませんので、あらかじめご了承ください。
- ・保証書に販売店の捺印がない場合は、保証期間内であっても有償修理となる場合があります。
- ・製品購入日の証明ができない場合、無償修理の対象となりませんのでご注意ください。
- ・修理依頼時の運送中の故障や事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

マルチ AP 機能について

本商品はマルチAP機能を搭載しています。ファーストSSIDとセカンドSSIDの2つのSSIDを同時に使用できます。

ファーストSSIDにはパソコンやWiiなどのゲーム機を接続し、セカンドSSIDはWEPのみに対応しているニンテンドーDSを接続してお使いください。

■ファーストSSIDとセカンドSSIDの違い

ファーストSSIDとセカンドSSIDの違いは、次の表のとおりです。

	設定画面の表示	インターネットの接続	LAN接続	設定できる無線セキュリティ
ファーストSSID	○	○	○	WPS、WPA2-PSK、WPA-PSK、WEP (64/128bit)
セカンドSSID	×	○	○	WEP (64/128bit)



ファーストSSIDとセカンドSSIDのネットワーク名、認証方式などは、「工場出荷時設定」(P.94)をご覧ください。

■マルチ AP 機能を有効／無効にする

本商品のマルチAP機能は有効になっています。マルチAP機能でセカンドSSIDを使用しないときは、次の手順でマルチAP機能を無効にします。

- 1 設定画面を開き、「本体設定」－「無線設定」－「マルチAP設定」をクリックします。
設定画面を開く手順は、「設定画面を表示する」(P.45)をご覧ください。

- 2 マルチ AP 機能を「有効」または「無効」にして、[設定] をクリックします。

無線設定/マルチAP設定 ? HELP

マルチAP機能 有効 ▼

ネットワーク名 (SSID) xxxxxxxxxxxxxx_G2

転送レート 自動設定 ▼

ステルスAP 無効 ▼

暗号方式 WEP ▼

暗号化 128 Bit - ASCII半角英数記号13文字 ▼

WEPキー
キー1 ② xxxxxxxxxxxxxx

設定 取消 戻る

①「有効」または「無効」にします

②クリックします

以上で、マルチ AP 機能の有効または無効が設定できました。

仕様一覧

サポート規格	無線LAN	(国際規格) IEEE802.11g/IEEE802.11b/IEEE802.11 (国内規格) ARIB STD-T66
	LAN	IEEE802.3u(100BASE-TX)/IEEE802.3(10BASE-T)/IEEE802.3x(Flow Control)
取得承認		VCCI クラスB, 技術基準適合証明
無線LAN仕様	推奨ブラウザ	Internet Explorer 6.0以上, Safari 1.2以上
	周波数帯域	[IEEE802.11g/b] 2.412GHz~2.472GHz(中心周波数表示)
	チャンネル数	[IEEE802.11g/b] 13ch (1~13ch)
	伝送速度	[IEEE802.11g] 54/48/36/24/18/12/9/6Mbps [IEEE802.11b] 11/5.5/2/1Mbps
	伝送方式	OFDM(直交周波数分割多重変調方式)、DS-SS(直接拡散型スペクトラム拡散方式)
	通信モード	Infrastructure(アクセスポイントモード)
	アンテナ形式	プリントアンテナ×1
セキュリティ		SSID(IEEE802.11: ID(文字列)による識別)、WEP(64/128bit)、 WPA-PSK(パーソナル)、WPA2-PSK(パーソナル)、 TKIP/AES(WPA/WPA2の設定内に含む)、 ステルスAP(SSID名隠蔽、ANY拒否)、MACアドレスフィルタリング、 ワイヤレスパーテーション(無線端末<=>無線端末間通信の有効/無効)
LAN仕様	規格	100BASE-TX/10BASE-T, Full Duplex/Half Duplexオートネゴシエーション
	ポート	RJ-45×1ポート(MDI/MDI-X自動認識)
電源仕様 (ACアダプタ)	定格入力電圧	AC100V(50/60Hz)
	定格入力電流	500mA
最大消費電力		3.5W
環境条件	動作時	温度: 0~40℃/湿度: 5~90%(結露なきこと)
	保管時	温度: -20~60℃/湿度: 5~95%(結露なきこと)
外形寸法		100(W)×81(D)×25(H)mm 本体のみ(突起部を含みます)
質量		100g 本体のみ

工場出荷時設定

IPアドレス	192.168.1.230
ログイン名(管理者ユーザ名)	root
パスワード	(空欄)
マルチAP機能	有効
ネットワーク名(SSID)	本体底面の「ネットワーク名(SSID)」に記載
認証方式	[ファーストSSID] WPA2/WPA-PSK [セカンドSSID] WEP
暗号方式	[ファーストSSID] AES/TKIP [セカンドSSID] WEPキー(128bit-ASCII)
初期PINコード(ネットワークキー)	本体底面の「初期PINコード」に記載

おことわり

- ・ 本書は、株式会社コレガが作成したもので、すべての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
- ・ 予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。
- ・ 改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。

本商品は国内仕様となっており、外国の規格などには準拠しておりません。日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本商品は、GNU General Public License Version 2 に基づき許諾されるソフトウェアのソースコードを含んでいます。これらのソースコードはフリーソフトウェアです。お客様は、Free Software Foundation が定めた GNU General Public License Version 2 の条件に従ってこれらのソースコードを再頒布または変更することができます。これらのソースコードは有用と思いますが、頒布にあたっては、市場性及び特定目的適合性についての暗黙の保証を含めて、いかなる保証も行ないません。詳細についてはコレガホームページ内の「GNU 一般公有使用許諾書（GNU General Public License）」をお読みください。なお、ソースコードの入手をご希望されるお客様は、コレガホームページ、サポート情報内の個別製品の「ダウンロード情報」をご覧ください。配布時に発生する費用はお客様のご負担になります。

Copyright©2008 株式会社コレガ

corega は、株式会社コレガの登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

ニンテンドー DS、ニンテンドー Wi-Fi コネクション、Wii は任天堂の登録商標または商標です。©2008 Nintendo

AirMac、Macintosh、Mac OS、Safari は、Apple Inc. の登録商標または商標です。

その他、この文書に掲載しているソフトウェアおよび周辺機器の名称は各メーカーの商標または登録商標です。

2008 年 1 月 初版



ご契約プロバイダ	
ご契約ブロードバンドサービス	
お使いのモデム	メーカー
	製品名
コース／プラン	
IP電話の契約	有 ・ 無
マンションタイプの契約	有 ・ 無
接続するパソコンの機種 (OS)	Windows Vista (台) Windows XP (台) Windows 2000 (台)

[illegible]

ファームウェアバージョン	
--------------	--

接続イラスト

(お使いの接続状態をイラストで控えておくとも問い合わせに便利です)